



第5号

National Institute of Technology, Sendai College

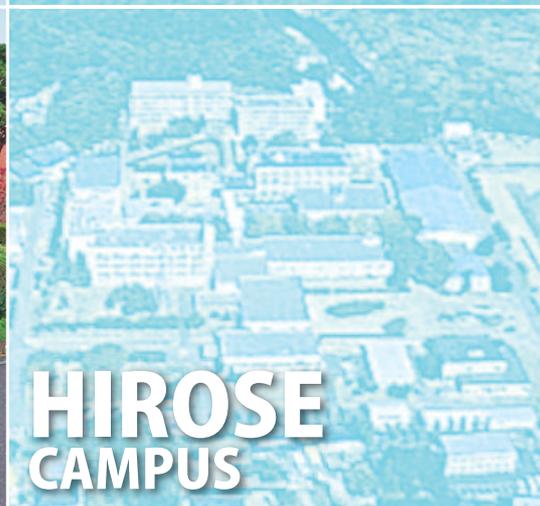
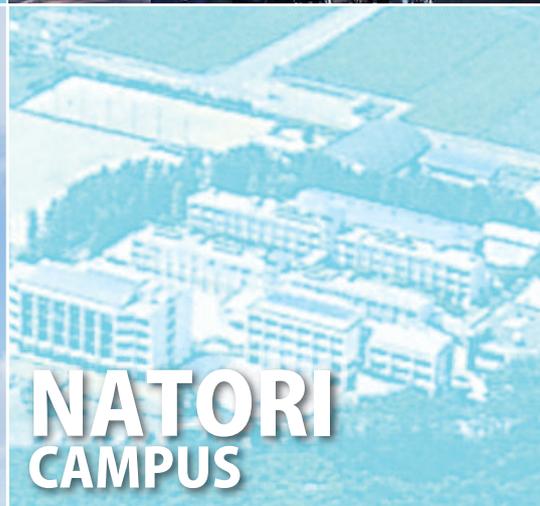
# 仙台高専

URL <http://www.sendai-nct.ac.jp/>

# だより

## CONTENTS

2	卒業生・修了生へのメッセージ
3	ジュニアドクター育成塾について
4-5	進路指導と進路実績について
6-7	高専体育大会結果について
8-9	学生の活動状況について
10-14	卒業生・修了生の研究紹介
15	研修旅行について
16	校外研修報告
17	図書館の活動について
18	学生相談室
19	新任教職員紹介
20-21	退職教員・職員メッセージ
22	活動状況報告
23	キャンパストピックス



## 仙台高等専門学校

# 卒業生・修了生へのメッセージ

## 「グローバルに考えよう」

この春、仙台高等専門学校本科を卒業される皆さん、また専攻科を修了される皆さん、おめでとうございます。これまで暖かい支援を続けてこられた保護者の皆様のお喜びもひとしおと思います。皆さんの成長した姿は晴々しく、教職員一同も皆さんと同様に達成感に満ち溢れています。

皆さんが学んだことは、どのように社会に活かされるでしょうか。電子産業、自動車産業など主要な我国の製造業の製品は、いまや世界の街中で使われ人々に親しまれるようになりました。このことは、国際社会のニーズを知り、世界中の人々に受け入れられなければ、産業として成り立ちにくい時代になったことを意味しています。さらに取り組むべき課題も世界情勢によってどんどん変わって行くでしょう。リチウムやガリウムなど電子機器に必要な主要な金属は輸入に頼っていることも忘れてはなりません。同時に厳しい国際競争の下では、世界の最先端技術の動向を常に把握しておく必要があります。これらは、どのようにして可能になるでしょうか。

ヒントになるのは、最近、国境を越えた活躍が目立つ人々です。オリンピックの選手たちは、国際的に最先端のレベルがどこにあるかを常に意識し、多国間での情報交換を深めています。そこでは優れた技術を学びあうことに加えて、文化的な交流も含めた人的交流が重要です。科学や技術の世界においても同じことが言えるでしょう。優れた技術を常に学んで自らを磨くとともに、国境を越えた文化交流を大切に、専門の違う色々な人達と共同で仕事をするのが重要です。このためには、在学中はあまり関係ないと感じていたかもしれない人文社会系の学問が役立つかもしれません。狭い殻に閉じこもらず、どんな分野でも自ら学ぶ気持ちを保ち続けてもらいたいと願っています。

グローバルに活動することは、その人の職業、立場、持てる資金などに依存しますので、実践できる人は限られているでしょう。しかし、「考える」ことは誰にでもできるはずで、同時代を生きる世界の人々がどのように暮らし何を考えているのか、世界の最先端を担う人々は何を目指しているのか等々の情報は、テレビやインターネットを通じて今や簡単に手に入るようになりました。世界中の超一流の学者や教育者による講義も視聴できます。このようにして、未来を創りあげる技術者となる皆さんには、グローバルに考えてもらうことを期待しています。深く慎重に考えた結果として、非常にローカルな課題に取り組むこともあり得るでしょう。どのような道を行くにしろ、「世界を想う」ことが皆さんの将来を切り拓くと考えています。



校長 福村 裕史

## 本校がジュニアドクター育成塾の推進機関に選定されました

文部科学省が所管し、国を挙げて実施されている取り組みの中には、次世代のアスリートや科学者の発掘・育成を目的とした事業があります。多くのオリンピック選手を輩出しているエリートアカデミーが「アスリート」を対象とした事業であるのに対し、「ジュニアドクター育成塾」は、「科学者」の早期育成を目的とした取り組みになります。

本年度、仙台高専は東京大学や筑波大学をはじめとする全国の教育機関の中から、ジュニアドクター育成塾の推進機関（10機関）に選定されました。また、仙台高専は、全国高専の中で唯一の本事業の選定校になります。

本取り組みでは、小学校5年生から中学校3年生の児童・生徒を対象にしており、第一段階プログラムの基礎・応用学習（定員40名程度・10～9月）と第二段階プログラムの高度・実践学習（定員20名程度・10月～中学卒業）に分れています。各プログラムの受講生は、それぞれ創造力コンテストと第一段階プログラムでの取り組みをもとに受講生が選抜されます。

また、特に第一段階プログラムでは、広瀬キャンパスのA、R、Sの3コース、名取キャンパスのサイエンス、ロボットの2コースが開設されており、幅広い受講分野の中から受講生自ら、自分の興味に合ったコースを選択できることが、本プログラムの大きな特徴の1つになっています。現在、本取り組みでは、55名の受講生が未来の科学者を目指して、第一段階プログラムの様々な取り組みに積極的にチャレンジしています。



ジュニアドクター育成塾の位置付け



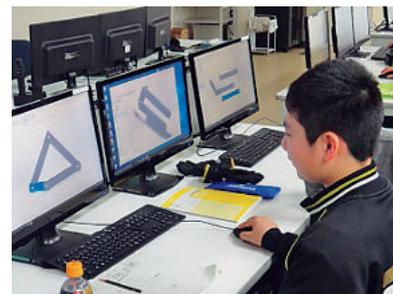
本校のプログラムの概要



サイエンス・コース



ロボット・コース



R・コース

各コースの受講生の様子

# 進路指導と進路実績について **名取**

## 平成29年度卒業・修了生の進路について

名取キャンパスキャリア教育推進室長 教授 浅田 格

名取キャンパスでは、今年度は926社の企業から求人があり、就職内定率は100%となりました。準学士課程では93名、専攻科課程では32名の学生が就職します。

進学については、本科から51名の学生が専攻科へ進学し、また18名が大学3年生へ編入学します。専攻科からは9名が大学院へ進学します。

今年度は、進路資料である「就職・進学のためのガイドブック」を1、3年生に配付しました。卒業生の進路先、先輩の体験記や後輩への助言、進路書類の記載方法などを掲載した資料ですので、将来の参考にしてください。

また、11月に4学年進路ガイダンスを開催し、12月に進学を希望する3、4年生を対象に進学者向けガイダンスと大学・大学院説明会を実施しました。近年は高専生向けの合同企業説明会が多く実施されるようになり、就職希望者全員にメディア総研、マイナビ、学研アソシエ主催の説明会への参加を勧めています。合わせて外部講師による選考試験対策講座を行いました。例年好評となっている女子学生対象のメイクアップ講座は6月に実施し、4年生のインターンシップやその後の就職活動に役立てています。

その他、3学年研修、1年生向けコース紹介でのキャリア説明などを実施しました。

本校を旅立つ皆さんのさらなる活躍を期待しています。在学生の皆さんは将来の夢実現に向けて、早期に目標を立てて日々の学習や研究活動へと繋げてほしいと思います。

### 今年度卒業する5年生の進路は、就職が昨年度より多い56%、進学が44%でした。

#### 進学状況 (平成29年度)

##### 専攻科進学・大学編入学等状況

仙台高専専攻科…51(3)名、豊橋技術科学大学…5名、長岡技術科学大学…2(1)名、千葉大学…2名、岩手大学…2名、秋田大学…1名、新潟大学…1名、埼玉大学…1名、室蘭工業大学…1名、福井大学…1名、東北芸術工科大学…1名、東海大学…1名、専門学校…1名

合計…70(4)名 ※( )は内数で女子

##### 大学院進学状況 (専攻科)

東北大学大学院…8(1)名、長岡技術科学大学大学院…1名

合計…9(1)名 ※( )は内数で女子

#### 就職状況 (平成29年度)

##### 産業別就職状況

製造業…64(5)名、建設業…21(6)名、情報通信業…5(3)名、電気・ガス・熱・水道業…7(1)名、技術サービス業…21(6)名、運輸業…4(2)名、不動産業…1名、教育・学習支援業…1名、公務員…1名

合計…125(23)名 ※( )は内数で女子

#### 学生ひとり当たり18.2倍の求人倍率

準学士課程 就職：進学＝43：57  
専攻科進学：大学編入学＝74：26

専攻科課程 就職：大学院進学＝78：22

#### 就職先一覧 (平成29年度)

##### 準学士課程

アークレイ、アイシン・コムクルーズ、会津オリンパス、曙ブレーキ工業、旭化成、イオンディライト、いすゞエンジニアリング、エイアンドティー、NTTファシリティーズ東北、エネ・グリーン、MBM、オムロン、花王、鹿島建設、カンセツ、クレハ、小松製作所、五洋建設、鷺宮製作所、サンドビックツールリングサプライジャパン、三洋化成工業、JSR、JXエンジニアリング、JXTGエネルギー仙台製油所、JXTGエネルギー中央研究所、ジェイエムエンジニアリング、JFEスチール、ジャムコエアロマニュファクチャリング、首都高技術、水ing、SUBARUテクノ、セイコーエプソン、仙台市消防局、仙台ニココン、ソニーエンジニアリング、ソニーコーポレートサービス、ソニーストレージメディアマニュファクチャリング、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、大東建託、高砂熱学工業、武田テバファーマ、竹中工務店、DIC、DMG森精機、ディオ・ホリ、テクノプロ テクノプロ・デザイン社、東海旅客鉄道、東京ガス、東芝エレベータ、東北インフォメーション・システムズ、東北電力、東洋インキSCホールディングス、DOWAホールディングス、戸田建設、ナカノフード建設、日東紡、日本精工、日本ハム食品、パイオニアシステムテクノロジー、ハイマックス、東日本エンジニアリング、東日本旅客鉄道、日立ビルシステム、フィリップスエレクトロニクスジャパン、福島太陽誘電、フジテック、富士電機、復建技術コンサルタント、ポーライト、マイスターエンジニアリング、マニー、三井製糖、三菱電機ビルテクノサービス、三菱日立パワーシステムズ 高砂工場、八重樫工務店、ユアテック、ライオン、リンク情報システム

##### 専攻科課程

アイベックスエアラインズ、アウトソーシングテクノロジー、ANAライメンテナンステクニクス、インテリジェンスビジネスソリューションズ、エイアンドティー、NECフィールディング、NTTファシリティーズ東北、オノヤ、花王、ケーヒン、小松製作所、サントリーホールディングス、ジーテクト、JX金属、関・空間設計、仙建工業、ソニーストレージメディアマニュファクチャリング、大建設、大和ハウス工業、坪田塾、東急建設、東燃ゼネラル石油、東北電力、東北パイオニアEG、日本郵政、日本空港テクノ、日本電子、パナソニックアプライアンス社、日立ハイテクフィールディング、フジテック、牧野フライス製作所、メタウォーター

# 進路指導と進路実績について 広瀬

## 平成29年度卒業・修了生の進路について

広瀬キャンパスキャリア教育推進室長 教授 竹島 久志

平成29年度の広瀬キャンパスの本科卒業生は110名であり、内54名が就職、53名が進学しました(その他3名)。専攻科修了生は33名で、22名が就職、8名が進学でした(その他3名)。広瀬キャンパスへの求人企業数は本科対象が408社(求人数510名)、専攻科対象が358社(求人数394名)でした。

広瀬キャンパスキャリア教育推進室では、昨年度9月下旬より本科4年生および専攻科1年生を対象として、各種進路支援行事を実施しました。まず9月には、各自の適性を知るためにSPI2模擬試験および内田クレペリン検査を実施しました。10月から翌年1月にかけて学科毎に卒業生に來校していただき、現在の仕事内容や進路選択に際して考えた事などを話していただきました。12月には進路支援ガイダンスを開催し、進路に関するスケジュール、基本方針等を周知しました。就職活動支援として、2月にコミュニケーション力アップ講座と模擬面接講座を、6月に面接フォローアップ個別面談を開催し採用試験の合格率向上に努めました。就職支援会社(学研アソシエ、メディア総研、マイナビ)が主催する高専生向け合同企業説明会が1月および3月に仙台市内で開催され、就職希望者のみならず進学希望者にも参加するよう積極的に呼びかけました。進学については、長岡技術科学大学など4校の大学教員が來校され、大学および大学院について紹介していただき、進学希望学生の進路先選択の参考になりました。また、「進路の手引き」を進学に関する情報を含めたものに改訂し、全学生に配付しました。

### 今年度卒業する5年生の進路は、昨年度より進学の割合が高くなり就職50%、進学50%でした。

#### 進学状況(平成29年度)

##### 専攻科進学・大学編入学等状況

仙台高専専攻科…33(3)名、公立はこだて未来大学…1名、弘前大学…1名、岩手大学…3名、東北大学…2名、山形大学…3(1)名、福島大学…1名、長岡技術科学大学…3名、茨城大学…1名、筑波大学…1名、豊橋技術科学大学…1名、名古屋大学…1名、大阪大学…1名、甲陽音楽学院…1名

合計…53(4)名 ※( )は内数で女子

##### 大学院進学状況(専攻科)

東北大学大学院…6名、電気通信大学大学院…1名、名古屋大学大学院…1名

合計…8名

#### 就職状況(平成29年度)

##### 産業別就職状況

製造業…22(1)名、建設業…3名、情報通信業…28(2)名、電気・ガス・熱・水道業…4名、技術サービス業…5(1)名、運輸業…3(1)名、複合サービス事業…8(1)名、小売業…1名、公務員…1名、自営業…1名

合計…76(6)名 ※( )は内数で女子

#### 学生ひとり当たりの求人倍率 9.1倍(準学士課程)、15.8倍(専攻科課程)

準学士課程 就職:進学=50:50  
専攻科進学:大学編入学=63:37

専攻科課程 就職:大学院進学=73:27

#### 就職先一覧(平成29年度)

##### 準学士課程

アクト、アルファシステムズ、エスクルー、NHKメディアテクノロジー、NTTコムエンジニアリング、NTTファシリティーズ東北、キヤノン、京セラコミュニケーションシステム、KDDIエンジニアリング、ケーヒンエレクトロニクステクノロジー、コベルコソフトサービス、COM電子開発、JVCケンウッド、ジュピターテレコム、ソニーストレージメディアマニュファクチャリング、ダイキン工業、中外製薬工業、中部電力、DMG森精機、TTK、東海旅客鉄道、東京エレクトロニクス、東京ガス、東芝プラントシステム、ドコモCS東北、トヨタ自動車東日本、ナブコシステム、日信電子サービス、日本たばこ産業、日本電設工業、パイオニアシステムテクノロジー、バイスリープロジェクト、ハイマックス、パワーハウス、東日本高速道路、東日本旅客鉄道、日立ソリューションズ東日本、日立ハイテクフィールドディング、ビッツ、フジテック、プロトコーポレーション、本田技研工業、ムラテック販売、ユアテック、自営業

##### 専攻科課程

アイ・エム・ジェイ、アトラエ、NEC、NTTコミュニケーションズ、京セラコミュニケーションシステム、KDDI、新東電算、ソフトバンク、ソフトブレン、東海旅客鉄道、東京エレクトロニクスFE、パイオニアシステムテクノロジー、日立ソリューションズ東日本、富士アイティ、ブロードバンドタワー、本田技研工業、三菱電機特機システム、メンバーズ、六興電気、やまや、国家公務員(東北管区警察局)

# 高専体育大会結果について

## 名 取



### ■第54回東北地区高専体育大会

陸 上	(男子)100m	大和 功征 (PE4)	第1位	全国大会出場
	(男子)走高跳	後藤 憲太郎 (II類1-1)	第3位	全国大会出場
バレーボール	(男子)		第3位	
	(女子)		第3位	
サッカー	(男子)団体戦		第3位	
	(男子)シングルス	小野 皓平 (PS3) 相原 喬永 (PM5)	第2位	全国大会出場
バドミントン	(女子)団体戦		第3位	
	(男子)ダブルス	中島 航平 (PA4) 佐藤 章二郎 (PM5)	第3位	全国大会出場
ソフトテニス	(男子)団体戦		優 勝	全国大会出場
	(男子)60kg級	長岡 正也 (PS3)	優 勝	全国大会出場
	(男子)60kg級	内間 健渡 (PE4)	第2位	全国大会出場
	(男子)73kg級	鹿野 晃弘 (PE5)	優 勝	全国大会出場
	(男子)73kg級	齋藤 祥 (PM5)	第2位	全国大会出場
	(男子)90kg級	丹野 肇 (PA3)	優 勝	全国大会出場
	(男子)90kg級	安部 圭亮 (PE4)	第2位	全国大会出場
	(男子)90kg超級	荻原 康平 (PE2)	優 勝	全国大会出場
ラグビーフットボール	(男子)90kg超級	藤原 一貴 (II類1-2)	第2位	全国大会出場
			優 勝	全国大会出場
硬式野球			第2位	
ハンドボール			第2位	全国大会出場
テニス	(女子)団体戦		第3位	
	(女子)シングルス	藤原 百合 (PE3)	第3位	
剣 道	(男子)団体戦		優 勝	全国大会出場
	(男子)個人戦	吉永 悠久 (PS2)	第3位	全国大会出場
水 泳	(男子)学校対抗		第2位	
	(男子)自由形50m	速水 伸幸 (PM4)	優 勝	全国大会出場
	(男子)自由形100m	速水 伸幸 (PM4)	優 勝	全国大会出場
	(男子)自由形400m	隼石 諒太郎 (PE3)	第3位	全国大会出場
	(男子)平泳ぎ100m	佐藤 悠大 (PS2)	第3位	全国大会出場
	(男子)平泳ぎ200m	高橋 凜 (III類1-4)	第2位	全国大会出場
	(男子)バタフライ200m	尾田 佑斗 (PM2)	第3位	全国大会出場
	(男子)リレー400m	速水 伸幸 (PM4)・隼石 諒太郎 (PE3)・尾田 佑斗 (PM2)・高橋 凜 (III類1-4)	第3位	
	(男子)リレー800m	伊藤 郁弥 (II類1-3)・坂橋 蓮次 (II類1-3)・小谷 真人 (PM2)・速水 伸幸 (PM4)	第3位	
	(男子)メドレーリレー400m	速水 伸幸 (PM4)・高橋 凜 (III類1-4)・小谷 真人 (PM2)・隼石 諒太郎 (PE3)	第2位	全国大会出場
	(女子)学校対抗		第2位	
	(女子)自由形100m	千田 ひかる (PA3)	優 勝	全国大会出場
	(女子)自由形400m	宇井 綾香 (II類1-1)	第2位	全国大会出場
	(女子)背泳ぎ50m	千田 ひかる (PA3)	優 勝	全国大会出場
	(女子)背泳ぎ100m	佐竹 萌香 (PA2)	第2位	全国大会出場
	(女子)平泳ぎ100m	佐藤 真鈴 (PS3)	第2位	全国大会出場
	(女子)平泳ぎ200m	佐藤 真鈴 (PS3)	第3位	
	(女子)バタフライ50m	宇井 綾香 (II類1-1)	優 勝	全国大会出場
	(女子)リレー200m	千田 ひかる (PA3)・宇井 綾香 (II類1-1)・佐竹 萌香 (PA2)・佐藤 真鈴 (PS3)	優 勝	全国大会出場
	(女子)リレー400m	千田 ひかる (PA3)・宇井 綾香 (II類1-1)・佐竹 萌香 (PA2)・佐藤 真鈴 (PS3)	第2位	
(女子)メドレーリレー200m	千田 ひかる (PA3)・宇井 綾香 (II類1-1)・佐竹 萌香 (PA2)・佐藤 真鈴 (PS3)	優 勝		
バスケットボール	(男子)		優 勝	全国大会出場
	(女子)		第3位	

### ■第52回全国高専体育大会

陸 上	(男子)100m	大和 功征 (PE4)	予選敗退
	(男子)走高跳	後藤 憲太郎 (II類1-1)	決勝敗退
バドミントン	(男子)シングルス	小野 皓平 (PS3)	第3位
	(男子)ダブルス	中島 航平 (PA4)・佐藤 章二郎 (PM5)	2回戦敗退
ソフトテニス	(男子)団体戦		第3位
	(男子)60kg級	長岡 正也 (PS3)	第3位
	(男子)60kg級	内間 健渡 (PE4)	1回戦敗退
	(男子)73kg級	鹿野 晃弘 (PE5)	第3位
	(男子)73kg級	齋藤 祥 (PM5)	1回戦敗退
	(男子)90kg級	丹野 肇 (PA3)	2回戦敗退
	(男子)90kg級	安部 圭亮 (PE4)	2回戦敗退
	(男子)90kg超級	荻原 康平 (PE2)	1回戦敗退
ハンドボール	(男子)90kg超級	藤原 一貴 (II類1-2)	2回戦敗退
	(男子)		予選敗退
剣 道	(男子)団体戦		第3位
	(男子)個人戦	吉永 悠久 (PS2)	1回戦敗退
水 泳	(男子)自由形50m	速水 伸幸 (PM4)	優勝
	(男子)自由形100m	速水 伸幸 (PM4)	第2位
	(男子)自由形100m	隼石 諒太郎 (PE3)	予選敗退
	(男子)自由形400m	佐藤 悠大 (PS2)	21位
	(男子)平泳ぎ100m	高橋 凜 (III類1-4)	第7位
	(男子)平泳ぎ200m	高橋 凜 (III類1-4)	第8位
	(男子)バタフライ200m	尾田 佑斗 (PM2)	予選敗退
	(男子)メドレーリレー400m	速水 伸幸 (PM4)・高橋 凜 (III類1-4)・小谷 真人 (PM2)・隼石 諒太郎 (PE3)	第5位
	(女子)自由形100m	千田 ひかる (PA3)	第3位
	(女子)自由形400m	宇井 綾香 (II類1-1)	第8位
	(女子)背泳ぎ50m	千田 ひかる (PA3)	第3位
	(女子)背泳ぎ100m	佐竹 萌香 (PA2)	予選敗退
	(女子)平泳ぎ100m	佐藤 真鈴 (PS3)	予選敗退
	(女子)バタフライ50m	宇井 綾香 (II類1-1)	第6位
(女子)リレー200m	千田 ひかる (PA3)・宇井 綾香 (II類1-1)・佐竹 萌香 (PA2)・佐藤 真鈴 (PS3)	第2位	
バスケットボール	(男子)		予選敗退
ラグビーフットボール			第2位

# 高専体育大会結果について

## 高専体育大会

6月30日(金)から7月2日(日)まで(ラグビー競技は10月20日(金)から24日(火)まで)、鶴岡高専が主管校となり、第54回東北地区高等専門学校体育大会が開催されました。また、8月下旬から9月上旬(ラグビー競技は12月22日(金)～)にかけて関東地区が担当となり、第52回全国高等専門学校体育大会が開催され、名取キャンパスからは陸上、バドミントン、ソフトテニス、柔道、ハンドボール、剣道、水泳、バスケットボール、ラグビーフットボールが、広瀬キャンパスからは陸上、剣道の各競技が出場しました。

結果は次のとおりです。【注:地区大会は上位入賞(3位以上)のみ掲載】

## 広 瀬

### ■第54回東北地区高専体育大会

陸 上	(男子)800m	菊地 誠 (IS5)	第3位	全国大会出場
	(男子)1500m	菊地 誠 (IS5)	第2位	全国大会出場
	(女子)100m	安田 波輝 (IE5)	第2位	全国大会出場
	(女子)100m	岩城 未紅 (IS3)	第3位	全国大会出場
	(女子)100mH	安田 波輝 (IE5)	第1位	全国大会出場
	(女子)4×100mリレー	岩城 未紅 (IS3)・安田 波輝 (IE5)・庄子 花梨 (IS3)・平塚 有紗 (IS3)	第2位	全国大会出場
	(女子)走幅跳	岩城 未紅 (IS3)	第1位	全国大会出場
	(女子)砲丸投	庄子 花梨 (IS3)	第2位	全国大会出場
	(女子)やり投	庄子 花梨 (IS3)	第1位	全国大会出場
	(女子)学校対抗		第2位	
ソフトテニス	(男子)団体戦		第3位	
ラグビーフットボール			第3位	
ハンドボール	(男子)		第3位	
剣 道	(男子)個人戦	樋谷 健太 (IE5)	第4位	全国大会出場
	(女子)個人戦	岩松 怜奈 (IE2)	第3位	



### ■第52回全国高専体育大会

陸 上	(男子)800m	菊地 誠 (IS5)	予選敗退
	(男子)1500m	菊地 誠 (IS5)	第11位
	(女子)100m	安田 波輝 (IE5)	第6位
	(女子)100m	岩城 未紅 (IS3)	
	(女子)100mH	安田 波輝 (IE5)	第3位
	(女子)4×100mリレー	岩城 未紅 (IS3)・安田 波輝 (IE5)・庄子 花梨 (IS3)・平塚 有紗 (IS3)	予選敗退
	(女子)走幅跳	岩城 未紅 (IS3)	第4位
	(女子)砲丸投	庄子 花梨 (IS3)	第15位
	(女子)やり投	庄子 花梨 (IS3)	第6位
	(女子)学校対抗		第10位
剣 道	(男子)個人戦	樋谷 健太 (IE5)	初戦敗退



# 学生の活動状況について

## 第14回全国高等専門学校デザインコンペティション 本校学生が最優秀賞(空間デザイン部門)及び優秀賞(創造デザイン部門)を受賞

平成29年12月2日(土)、3日(日)に岐阜市で行われた第14回全国高等専門学校デザインコンペティションにおいて、全国予選を勝ち抜いた空間部門2チーム、創造デザイン部門3チームと学内予選を通過した構造部門2チームが出場しました。学生32名、教職員4名の計36名の参加でした。

空間部門は、全国予選に提出された155作品から11作品が通過した本選には本校から2作品が参加、仙台市の煉瓦下水道をコンヴァージョンさせる提案(佐々木大(専攻科2年)星佑太郎(建築デザイン学科5年)高橋花歩(建築デザイン学科4年)後藤颯太(建築デザイン学科2年))と名取市関上地区の貞山運河対象地域として炭焼き小屋を軸に生態系を再生させる提案(加藤春奈(建築デザイン学科5年)穴戸奎介(建築デザイン学科4年)加藤美鈴(建築デザイン学科3年))の2作品です。

審査委員に対してのポスターセッションとプレゼンテーションを経て、見事に加藤春奈さん等のチームが全国1位に相当する最優秀賞を受賞しました。デザコンにおける本校の最優秀賞の受賞は旧宮城高専時代を含め、初めての受賞となります。

創造デザイン部門は、全国予選に提出された49作品から10作品が通過した本選には本校から3作品が参加しました。仲村拓馬・金子ひかり(以上、建築デザイン学科5年)伊藤若菜(建築デザイン学科4年)は浦戸諸島を対象に域内交通を再編・共存し

ながら地域の活性化を図る提案、星祐希(専攻科2年)大沼薫・渡邊百花(以上、建築デザイン学科5年)は丸森町におけるイノシシとの多面的な共存を目指す事業提案、そして伊藤藤・長濱柊・池田秀(以上、建築デザイン学科5年)佐竹皓基(建築デザイン学科4年)は廃線跡を農地に再利用する提案をしました。

審査委員に対してのポスターセッションとプレゼンテーションを経て、仲村拓馬君たちのチームと星祐希君たちのチームがそれぞれ優秀賞を受賞しました。

構造デザイン部門は、本校から2チームが参加し、全体成績では4位と6位の好成績をあげ、惜しくも入賞は逃しましたが大健闘しました。

今回主要3部門において、それぞれに好成績をあげたのは、仙台高専のみです。本校のデザコンの歴史にも一つのページをつくることができました。これらは学生の頑張り、指導した教員、様々な場面でご支援をいただいた関係の方々、そしてこれまでデザコンに関わっていただいた多くの皆さんの実績や空気が、今年の活動の一つ上のステージに押し上げる原動力にもなり、今回の結果につながったように思います。また来春から次年度の戦いがスタートしますが、ひとまずこの場にて報告と感謝の意を述べさせていただきます。



コンペの様子



コンペの様子



コンペの様子



参加者の様子

## 高専ロボコン2017東北地区大会が開催されました

10月1日(日)に、八戸市東体育館において、高専ロボコン2017東北地区大会が開催されました。今大会の競技課題「大江戸ロボット忍法帳」は、2台のロボットが様々なアイデアを駆使し、ロボットに取り付けられた5個の風船、または赤・青チームの本陣にそれぞれ取り付けられた10個の風船を割り合う競技で実施されました。

今年度、本校は惜しくも全国大会出場はなりませんでしたが、両キャンパスの学生達が試行錯誤しながら作り上げたロボット達が熱戦を繰り広げました。

### 【名取キャンパス出場チーム】

Aチーム(ロボット名:勝速日):デザイン賞・特別賞(本田技研工業株式会社)受賞

Bチーム(ロボット名:天之忍穂耳命)

名取キャンパスA、B両チームが今回挑んだテーマの一つが、これまでの学生ロボコンへの出場などで培ったロボットの自動化技術でした。

Aチームの1台は完全自動マシン。スタートの合図と同時に素早く動きだし、所定の位置に自動で停止し、そこから一気に相手本陣に竿を伸ばして、「エアむち」と呼ばれる秘密兵器で風船を割ります。そこまでの動作はすべて自動です。

Bチームの1台は、相手本陣まで最短ルートを自動走行するマシンです。しかし、実際に戦ってみると、今回の競技では、自動ロボットの活躍するシーンが圧倒的に少なく、自動でスムーズに動くロボットより、手動でも攻撃力の高いロボットが勝ちあがることに気が付きました。

ロボットというからには、自動で動かし、しかし試合に勝つためには……。

自分達の作りたいロボットか、競技に勝つロボットか、どちらをつくるべきなのか……名取キャンパスのメンバーにとってこの問いは今後も大きな課題となりそうな予感のする今大会でした。

### 【広瀬キャンパス出場チーム】

Aチーム(ロボット名:三獣 猪鹿蝶)

Bチーム(ロボット名:Surface)

今大会、広瀬キャンパスは有志メンバーが集まらず、科学部から2チームが出場しました。また、今年の東北地区大会は開催時期が早く、ロボットの製作期間も短い状況でした。人数不足に悩まされましたが、これまでの経験を活かして堅実にロボットを製作する3・4年生主体のAチームと、斬新なアイデアに果敢に挑戦する2年生主体のBチームという、特徴的なチーム構成となりました。

Aチームは、刀で風船を割る双腕ロボットと、カプセルを飛ばして遠・中距離から風船を割るロボットの2台で出場し、ダイナミックな動作で風船を割って2回戦まで勝ち進みました。

Bチームは、本陣の風船を一気に破壊する秘密道具(後に「4点バースト」と命名)を備えたロボットと、長刀で相手の風船を割るロボットの2台で出場しました。本陣の風船を一気に破壊する様子は会場を大いに盛り上げ、準決勝まで勝ち進みました。

両チームとも会場を沸かせるパフォーマンスをしつつ、勝利を狙うロボットを実現することが出来ました。全国大会の出場権を勝ち取ることが出来ませんでしたが、今後の成長が期待できる良い経験が出来た大会でした。

## 第9回高専祭が開催されました

10月28日(土)、10月29日(日)の2日間にわたり、名取・広瀬両キャンパスで第9回高専祭が開催されました。

名取キャンパスは『共創』、広瀬キャンパスは『festpia』をテーマとして、各キャンパスで様々な趣向を凝らした企画を実施しました。

名取キャンパスでは、総合棟で文化部や愛好会の出展、専門棟で学科展示をし、中庭ではクラスが軽食などの出店を開き、特設ステージで各種イベントを開催しました。茶道部のお茶会、吹奏楽部のミニコンサート、ドイツ提携校への訪問報告、学科展示ではミニ実験やペーパークラフトなど工夫を凝らした企画を行い、多数のお客様を迎えていました。ステージでは、高専祭で一番の盛り上がりとなったABE project

によるダンスの他、吹奏楽部や軽音楽部のコンサート、カラオケ大会、などを開催しました。

広瀬キャンパスでは、体育館で吹奏楽部や箏曲部の演奏、カラオケ大会、男装女装コンテスト、ゲーム大会、アームレスリング大会、バンド演奏等を行いました。また、近隣小・中学校の作品展示・ステージ発表や広瀬図書館と本校図書館のコラボ企画としての「古本市」を開催したりするなど、地域の方々の御協力も得ることができました。

入場者は両キャンパスを合わせて、二日間で約3,700名となりました。

たくさんの皆様に御来場いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。



名取キャンパスの様子

広瀬キャンパスの様子

# 学生の活動状況について

東北地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストシングル部門で本校学生が優勝・チーム部門も全国大会へ

## <シングル部門>

10月21日(土)に名取キャンパスを会場として「東北地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」が開催され、広瀬キャンパスから後藤隆太さん(情報システム工学科5年)、名取キャンパスから高橋佑大さん(マテリアル環境工学科3年)とスターキー流歌さん(総合工学科1年)が出場しました。

昨年度までの7分間のスピーチに代わり、今年度は5分間のプレゼンテーションと2分間のQ&Aという「シングル部門」として開催されました。東北地区高専の8名の参加者はPowerPointを使用するなど、それぞれに工夫を凝らしたプレゼンテーションを行いました。

本校の3名のプレゼンテーションのタイトルは次のとおりです。

後藤隆太さん: "The Future of Safe Driving"  
高橋佑大さん: "Ways to Make Our Dreams Come True"  
スターキー流歌さん: "Be Proud of Who You Are"

3名とも練習の成果を発揮したすばらしいプレゼンテーションでした。ネイティブスピーカーの審査員による審査の結果、後藤さんが優勝しました。後藤さんは、来年1月27日・28日に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われる「第11回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト」に東北地区代表2人のうちの1人として出場する予定です。



コンテスト会場にて

## <チーム部門>

チーム部門はビデオ予選として実施され、広瀬キャンパスから小松秀生さん(情報電子システム工学専攻2年)、北畑愛叶さん(知能エレクトロニクス工学科3年)、三浦東子さん(情報システム工学科2年)のチームがエントリー、全国大会出場が決定しました。

予選審査の基準は大きく3つの項目(英語力、発表内容、伝達力)に分かれており、伝達力項目では全国最高得点をいただくことができました。プレゼンテーションでは、「Connecting the dots of creativity in yourself.」のタイトルで、今までに経験した成功談を紹介しながら、各自が本来持っている創造性を見つけ、十分に発揮できることが夢を実現できる秘訣であることを堂々と伝えました。

伝達力項目で  
全国最高得点をゲットした  
本校のチームによる  
プレゼンテーションの様子



小松秀生さん  
(情報電子システム工学専攻2年)



北畑愛叶さん  
(知能エレクトロニクス工学科3年)



三浦東子さん  
(情報システム工学科2年)

## 大崎八幡宮の松焚祭(どんと祭)参加について

平成30年1月14日(日)に大崎八幡宮において開催された松焚祭(どんと祭)の裸参りに本校広瀬・名取キャンパスの教職員有志8名及び広瀬キャンパスの学生有志7名が参加しました。

大崎八幡宮の松焚祭(どんと祭)は、三百年の歴史を有する全国でも最大級の正月送りの行事であり、本校は昨年に引き続き2回目の参加となりました。

当日は、白鉢巻き・白さらしを巻きといった裸参り装束を身に纏い、口には私語を慎むために「含み紙」と呼ばれる紙をくわえ、鐘と提灯を手に持ち、本校の出発場所である柏木市民センターから、大崎八幡宮までの約2キロメートルの道のりを20分ほどかけて参拝しました。昇殿での祈祷及び御神火参拝の際は、1年間の無病息災・家内安全と本校の更なる発展・飛躍を祈願しました。

最後に、柏木市民センターの職員の皆様には、当日の施設使用に当たり、ストーブを用意していただく等温かいお心遣いをいただき、心より感謝申し上げます。さらに、本校広瀬キャンパス同窓会(松韻会)による多大なるご支援にも感謝申し上げます。



柏木市民センター出発前の集合写真



大崎八幡宮までの道のり



昇殿での祈祷



御神火参拝

## 広瀬キャンパスアマチュア無線部がALL JAコンテストで全国1位に

平成29年4月29日(土)21時から30日(日)21時の24時間で開催された日本アマチュア無線連盟主催の第59回ALL JAコンテストにおいて、広瀬キャンパスアマチュア無線部(JA7YQC)は、電信電話部門マルチオペオールバンド部門Mクラス(送信出力100W以下)の全国第1位となりました。同コンテストでの全国1位は2015年に続き二度目となります。

アマチュア無線のコンテストは決められた時間内にどれだけ多くの地域および相手局と交信できたかを競うもので、今回は24時間の運用で、延べ1,685局、222地域と交信しました。マルチオペオールバンド部門は、大学の無線部や社会人のクラブなどが参加する部門で、送信出力が100Wを超えるクラスの参加クラブ局と合わせても49エントリー局中第8位となっており、学校クラブ対抗では電気通信大学に続き第2位となっています。(第3位は東京大学)

コンテスト当日の運用は4年生部員が中心となって行われましたが、機材の準備やコンテスト中の連絡調整などには入部して間もない1年生も加わり、無線部全体で競技に臨みました。1年生も夏休みにアマチュア無線の免許を取得し、10月に開催された全市全部コンテストでは運用にも加わるようになりました。今後も無線設備の整備や運用技術の向上を図り、各種コンテストでの上位入賞を目指していきます。



コンテスト参加時の様子



コンテスト参加時の様子



入賞を祝うアマチュア無線部員



全国1位の賞状

# 卒業生・修了生の研究紹介

## 機械システム工学科

指導教員 准教授 渡邊 隆



機械システム工学科5年  
横山 頼希

代表的な非接触型の入力システムとして、音声入力挙げられます。しかし、このシステムは音声を用いる性質上、発話が困難な方や雑音が激しい環境下、セキュリティ等の観点から発話を控えたい場面において使用に支障が生じる場合があるため、音声入力を補佐・代替するシステムとして、画像処理を用いた入力システムを考案し、開発・検討を行いました。

まず、使用者の指先をカメラで撮影し、画像処理を用いてその動きをリアルタイムで追跡します。これにより、指先の座標値とその移動量の評価が可能となり、移動量が一定値以下と判断したときの座標値を「使用者が指さした箇所」と判定します。この際、ディスプレイには入力画像にマスを合成して表示しますが、使用者はそのマス目に沿って指を動かし最初に行の選択を行います。次に行毎の文字を表示する画面に切り替え、再度指を動かし選択することで入力文字を確定します。

実用可能性を評価するため、予備知識の無い被験者(男子学生)4名に文字入力を依頼しました。各5回の入力実験結果は18回/20回が成功となり(成功率90%)、比較的安定した精度での文字入力が可能であることが示されました。



文字入力の様子

## 電気システム工学科

指導教員 助教 鈴木 知真



電気システム工学科5年  
若生 建

私の所属する鈴木知真研究室では、ロボットやAIに関する研究を行っています。中でも私は、より人間らしいロボットや介護用パワードスーツのための次世代アクチュエータとして、人工筋肉を開発しています。現在ロボット等によく用いられるアクチュエータはモーターや油圧機器ですが、人工筋肉はそれと代替できると考えています。この研究によりかつての人工筋肉が抱えていた重量や価格の問題を改善できると考えます。

先行研究で釣り糸を用いた人工筋肉の存在が示されており、本研究ではそれを応用した人工筋肉の作製を進めています。2年間の研究活動にて、先行研究の再現と釣り糸人工筋肉の駆動方法の開発を行いました。この釣り糸人工筋肉は熱により動作しますが、ロボット等に利用する際の有効な駆動方法は決まっていません。私の研究では新しい駆動方法として導電性素材を用いたジュール熱加熱の開発を行いました。これにより人工筋肉の新たな駆動方法が示されました。

今後の研究により、人工筋肉のロボットやパワードスーツへの応用に向けた検討がなされていきます。

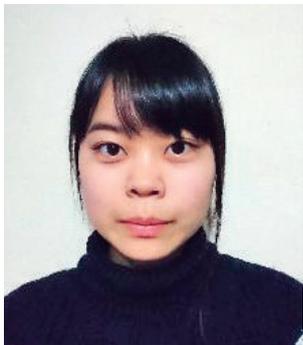


人工筋肉作製の様子

# 卒業生・修了生の研究紹介

## マテリアル環境工学科

指導教員 教授 浅田 格



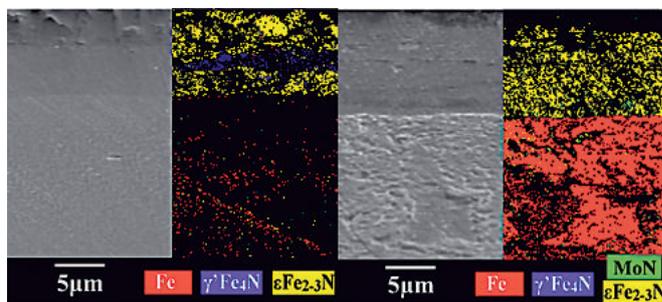
マテリアル環境工学科5年  
佐々木 智香

私は浅田研究室で鉄鋼材料の表面熱処理に関する研究を行ってきました。従来、自動車部品に対しては主に浸炭焼入れ処理が施されてきましたが、この処理は高温で行うため処理ひずみが発生し、後処理が必要となります。このような欠点は部品の小型化や高負荷化さらには温室効果ガスの削減が求められている産業界において課題となっています。また近年では、電気自動車への転換が推進されており、これまで以上に部品の特性向上が求められています。

本研究では高精度な寸法形状が実現できる窒化処理、また窒化処理よりも深い硬化層深さの得られる浸炭焼入れ処理に着目して研究を行いました。JIS規格の合金鋼とその主要元素のみの原料を溶解して作製した合金試料の窒化層構造や鋼材表面の硬さを調査し、それらを比較検討することで主要な合金元素ならびに不純物元素が与える影響を明らかにすることが目的です。図には、高性能な電子顕微鏡 (FE-SEM) によって解析した層構造を示しています。結果として層構造が炭素やクロムの影響によって炭窒化物を形成していることがわかりました。今後は、合金元素の寄与を詳細に解明する必要があります。

私は浅田研究室で鉄鋼材料の表面熱処理に関する研究を行ってきました。従来、自動車部品に対しては主に浸炭焼入れ処理が施されてきましたが、この処理は高温で行うため処理ひずみが発生し、後処理が必要となります。このような欠点は部品の小型化や高負荷化さらには温室効果ガスの削減が求められている産業界において課題となっています。また近年では、電気自動車への転換が推進されており、これまで以上に部品の特性向上が求められています。

本研究では高精度な寸法形状が実現できる窒化処理、また窒化処理よりも深い硬化層深さの得られる浸炭焼入れ処理に着目して研究を行いました。JIS規格の合金鋼とその主要元素のみの原料を溶解して作製した合金試料の窒化層構造や鋼材表面の硬さを調査し、それらを比較検討することで主要な合金元素ならびに不純物元素が与える影響を明らかにすることが目的です。図には、高性能な電子顕微鏡 (FE-SEM) によって解析した層構造を示しています。結果として層構造が炭素やクロムの影響によって炭窒化物を形成していることがわかりました。今後は、合金元素の寄与を詳細に解明する必要があります。



Fe-1.2Cr-0.3Mo-0.2C

SCM435

窒化試料の二次電子写真と化合物層解析結果

## 建築デザイン学科

指導教員 准教授 藤田 智己



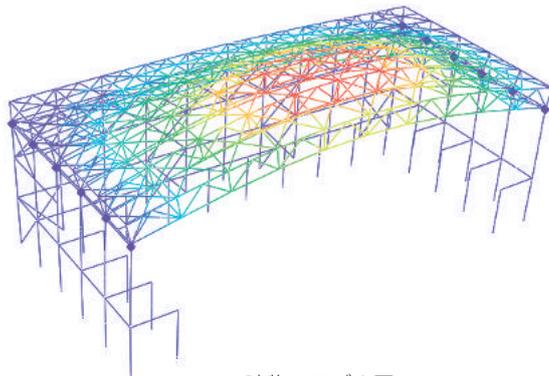
建築デザイン学科5年  
岩渕 友弥

2011年の東北地方太平洋沖地震、2016年の熊本地震において、RC下部構造の上に鉄骨トラスが置屋根状に配置された体育館の屋根とRC下部構造の接合部等で損傷がみられました。体育館は災害時における地域の避難所に指定されますが、損傷が原因で震災時に避難所として機能できない事例が発生しました。私が行っている研究は、体育館をはじめとする空間構造物の地震被害メカニズムの解明と損傷制御法の提案です。

2011年の東北地方太平洋沖地震、2016年の熊本地震において、RC下部構造の上に鉄骨トラスが置屋根状に配置された体育館の屋根とRC下部構造の接合部等で損傷がみられました。体育館は災害時における地域の避難所に指定されますが、損傷が原因で震災時に避難所として機能できない事例が発生しました。私が行っている研究は、体育館をはじめとする空間構造物の地震被害メカニズムの解明と損傷制御法の提案です。

本研究では、有限要素解析プログラムを用いて被害を受けた建物のモデル図を作成し、そのモデルに対して実際に発生した地震を与えることで、体育館の損傷進行メカニズムを再現しました。また、屋根の勾配等を条件にモデルを再構築したパラメトリックスタディーを実施し、空間構造物の地震動に対する損傷メカニズムの詳細な検討を行っていききました。

本研究で対象としている建物は、全国に散見される一般的な建物であり、首都直下地震、東海・東南海地震等、今後、高い確率で発生が懸念されている大規模な地震に対して、同様な被害を発生させないためにも状況に応じた補強方法を確立する必要があります。今後の研究では、今まで解明してきた損傷メカニズムをもとに補強方法の検討を行っていききたいと思っております。



建物のモデル図

# 卒業生・修了生の研究紹介

## 生産システムデザイン工学専攻

指導教員 教授 本郷 哲



生産システムデザイン工学専攻2年  
後藤 淳治

本研究では和音認識によく用いられるクロマベクトル(同じ音名のパワースペクトルを複数のオクターブ間で足し合わせた特徴量)を用い、さらに前処理としてLPFを施す工夫、調性情報を付加すること、テンポ情報から求まる拍単位のまとまりを作ることの3つの手法を取り入れることで和音認識率の向上を図るシステムの開発を目指しました。さまざまな楽曲を用いた実験を行い、クロマベクトルのみの認識率に比べ本研究で提案する手法の適用により認識率の向上が確認されました。

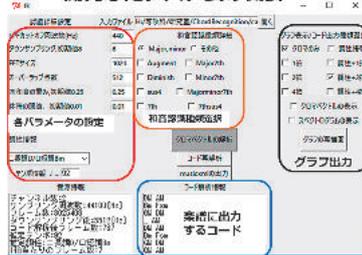
今後はより多くの楽曲を認識することで最適なパラメータ値を検討していき、さらなる認識率の向上ができてと考えています。

私は主にデジタル信号処理を扱う研究室に所属し、「音楽信号からの和音認識システムに関する研究」というテーマで研究を行ってきました。

高専では吹奏楽部と軽音楽部に所属し、「耳コピ」により採譜する機会が多くありました。しかし、人力でやるには時間がかかるため、自動採譜を試みましたが完全な耳コピシステムは現存しておらず、特に和音認識は周波数スペクトルの重なりを三つに分解するため認識するのは困難であることがわかりました。そこで、和音認識率を向上させるシステムを開発しようと考えました。

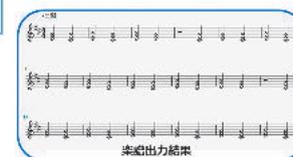
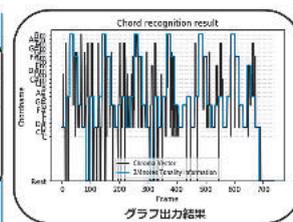
本研究では和音認識によく用いられるクロマベクトル(同じ音名のパワースペクトルを複数のオクターブ間で足し合わせた特徴量)を用い、さらに前処理としてLPFを施す工夫、調性情報を付加すること、テンポ情報から求まる拍

### 開発したシステムの概要



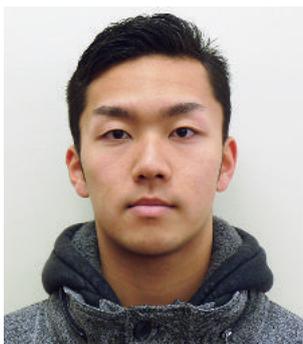
### 使い方

- ①入力ファイルの選択(wavファイル)
- ②「クロマベクトルの解析」ボタンを押す
- ③解析終了後グラフとテキストで結果が出力
- ④「musicxmlの出力」ボタンで楽譜の出力



## 知能エレクトロニクス工学科

指導教員 准教授 佐久間 実緒

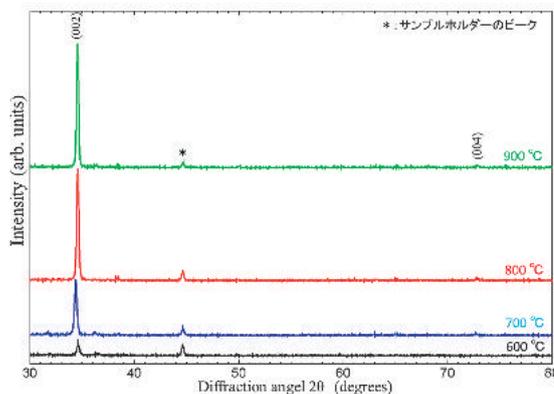


知能エレクトロニクス工学科5年  
齋藤 彰

結晶性は薄膜の質を確認するための重要なパラメータの一つです。図は熱処理温度の違いによる結晶性をX線回折測定で調べた結果です。熱処理温度が高いと結晶性が大きく改善されることが確認できました。光学特性評価でも同様に特性の向上が確認できました。電気的特性評価においては熱処理だけでなく成膜条件の検討、あるいはドーピングなどを行うことによって、さらなる特性の向上が見込まれることが確認できました。これらより、本研究ではUVセンサの開発へ向けて大きな一歩を踏み出した結果となりました。

私はUVセンサの開発に向けて酸化亜鉛(ZnO)薄膜の熱処理に関する研究を行いました。UV光は皮膚がんを引き起こすなど、人体に対して有害であることが知られています。本研究で用いるZnOは3.37 eVの広いバンドギャップを持つことから、可視光を透過しUV光を吸収するという特徴を有しています。UV光のみを検知可能であるため、可視光のカットフィルタが不要となり、低コスト生産や構造の簡略化されたUVセンサへの応用が期待できます。

しかし、ZnOのUVセンサの開発には様々な課題が残されています。本研究で用いたRFスパッタ法では不純物が少なく、付着力の強い薄膜が作製できますが、結晶性や光学特性、電気的特性などに課題があります。そこで、成膜したZnO薄膜に熱処理を施して各特性の向上を図りました。



熱処理温度の違いによる結晶性評価

# 卒業生・修了生の研究紹介

## 情報システム工学科

指導教員 教授 竹島 久志



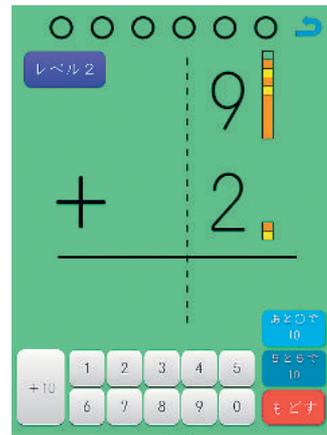
情報システム工学科5年  
相沢 幸翼

竹島研究室では、大阪狭山市立第七小学校の坪郷正徳氏との共同研究として、算数学習で躓く子供たちのための学習ソフトを開発しています。昨年度、本研究室OBの木村氏によって、分かりやすく、楽しい学習を可能とするWebアプリケーション「タイル式けいさんモンスター」が開発されました。私は、この学習ソフトに繰り上がり・繰り下がりのある問題を追加しました。

「タイル式けいさんモンスター」は、問題を解いてモンスターを倒すという形式で、楽しみながら学習できる教材です。問題から答えを導き出す助けとして、数を量として表現するタイルを表示し、それらを組み合わせる形でヒントを提示します。これにより、加減算および繰り上がり・繰り下がりの仕組みが理解できます。また、問題は細かくレベル

分けしてあるため、子供たちが苦手としている部分の把握が容易です。

今後は、加減算に関する教材だけでなく、掛け算や割り算、あるいは小数や分数を取り扱う教材の開発が必要になると考えられます。私は専攻科に進学するので、今後もそういった教材の開発に携わっていきたいと思います。



タイル式けいさんモンスター(くり上がり・くりさがり)

## 情報ネットワーク工学科

指導教員 教授 千葉 慎二



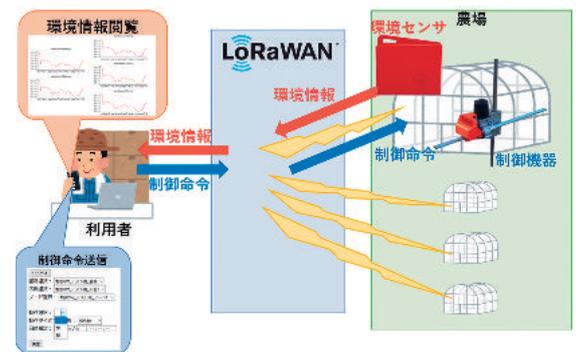
情報ネットワーク工学科5年  
股村 祐希

現在の日本の農業は高齢化と後継者不足が重なり、担い手不足が大変深刻な問題となっています。このような状況の中で日本の農業の生産性を維持するために、ICTを応用して農作業の負荷軽減や収穫率の向上を図るICT農業が注目されています。私は地元のワイナリーと協力してICT農業を応用した醸造用ブドウ苗の育苗システムを研究しています。この度、本研究内容を元にした「東北一のワイン消費県『宮城』～再生「復興の苗」プロジェクト～」が総務省の「高専ワイヤレスIoTコンテスト」に採択され、ワイナリーやIT企業と連携した研究開発を行う機会を得ることができました。

研究では、本校農場のビニールハウスに、温度センサーなどの環境情報を収集するセンサーと、窓の開閉を電動化する制御機器などを設置し、これらの機器から情報を収集するためのプログラムや、電動化した機器の制御プログラム・回路の開発を行いました。これらによって、利用者の方に通信端末から各種情報の閲覧や機器の制御を容易に遠隔で行えるサービスを実現しています。

また、農場との通信にはLoRaWANと言われる低消費電力で広域通信ができる通信方法を用いることで、各地に点在する農場から効率的な情報収集を実現でき、将来的には多くの人に利用していただくと考えています。

また、農場との通信にはLoRaWANと言われる低消費電力で広域通信ができる通信方法を用いることで、各地に点在する農場から効率的な情報収集を実現でき、将来的には多くの人に利用していただくと考えています。



簡易システム図

# 卒業生・修了生の研究紹介

## 情報電子システム工学専攻

指導教員 准教授 末永 貴俊



情報電子システム工学専攻2年  
菊地 一徳

私は末永研究室で、「路面情報収集のための自動追尾ロボットに関する研究」を行ってきました。スマートフォンの普及に伴い、電子マップを経路選択の一つの手段として利用することが多くなってきました。その中で、歩行者が歩くような歩道や小道での傾斜情報は、十分な精度での収集が難しいという問題があります。傾斜の大きな道歩くことは、大きな負担となるため、正確な傾斜情報を取集することで、経路選択の幅を広げられます。

そこで、私は道の傾斜情報を収集する手段として、測定者を自動追尾するロボットを開発しました。ロボットが自動で測定者を追尾することで、測定者は何も持たず、操作もすることなくロボットを制御でき、歩くだけで十分な精度の傾斜情報を簡単に収集することができます。実際に開発したロボットを使用し、仙台高専広瀬キャンパス周辺の錦ヶ丘を

中心に傾斜情報の収集を行いました。収集した傾斜情報はWeb上の地図に可視化され、これを基に最適な経路を選択できます。研究で行った、ロボットの製作・制御、センシング、Web上での可視化は、今まで高専で学んだことが基となりました。

今後も大学院で、高専の授業・研究で得た知識を生かしていきたいと思えます。



自動追尾ロボット



# 研修旅行について

## 名取研修旅行 in 中国

電気システム工学科4年 吉田 望我

私達電気システム工学科4年生は、11月8日から11月12日まで5日間に渡って中国に研修旅行に行ってきました。海外での研修旅行であったため、期待と不安で胸がいっぱいでした。そして、私の不安は的中しました。

事件は自由研修の日に起きました。自分たちの班が行こうと計画していた場所がマフィアの巣窟だということで、現地ガイドさんに止められ断念しました。急遽行く場所を変更しましたが、観覧車から上海市内を一望したりと楽しめました。また、なかなかタクシーが捕まらず移動が大変で、ホテルに帰るのも一苦労でした。初めての海外研修はドタバタの内に終わってしまいました。

企業見学ではMURATA無錫工場に行きました。無錫の工場では、スマートフォンなどのバッテリーを作っていて、全工程が機械化されている工場もあり驚きました。将来、海外で働いてみたいと思っている自分には勉強になることばかりで、自分の将来設計をする上でとても貴重な経験になりました。

今思えば様々なハプニングもいい思い出です。何はともあれクラス全員無事に日本に帰ってくることができて良かったです。これから、それぞれの進路に向かって頑張っていきたいです。



豫園(上海市)

### 研修旅行見学先メモ(名取キャンパス)

学 科	主な見学先(日程)
機械システム工学科	三菱日立パワーシステムズ、パナソニックエコテクノロジーセンター、新明和工業、ダイヘン(平成29年11月7日(火)~10日(金))
電気システム工学科	上海交通大学、muRataエナジーデバイス・無錫工場、蘇州(寒山寺、拙政園、虎丘他)(平成29年11月8日(水)~12日(日))
マテリアル環境工学科	UCC六甲アイランド工場、大阪造幣局、DIC堺工場、NECイノベーションワールド(関西)、三菱日立パワーシステムズ高砂工場(平成29年11月7日(火)~10日(金))
建築デザイン学科	ぐりんぐりん・ネクススワールド、アクロス福岡、ホテルイルパラッツォ、由布院駅舎、末田美術館、大分ビックアイ、大分市美術館、大分県美術館、北九州市立美術館、北九州中央図書館(平成29年11月7日(火)~10日(金))

## 広瀬研修旅行

情報ネットワーク工学科4年 相崎 璃音

私達のクラスは大阪と京都へ行きました。当日の朝は駅弁を食べようと張り切って早めに仙台駅に着いて「はらこ飯」を買いました。みんなと新幹線に乗って食べる「はらこ飯」はとてもおいしかったです。

1日目は「大阪企業家ミュージアム」を訪問し、高専生が普段は触れることがないような大阪の歴史に触れることができ、新鮮な気分でした。そしてその日の夜は先生方とクラスのみんなと串かつ食べ放題に行きました。クラスの仲がより深まったような気がして嬉しかったです。

2日目は「情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所」を訪問しました。様々な言語に翻訳できるアプリを実際に体験させていただき、最新の翻訳アプリの便利さに感動しました。また、その後は嵐山へ行き、友達とおみくじを引いて盛り上がりました。夜はお好み焼きを食べたのですが、宮城とは違うマヨネーズのかけ方に驚きました。

3日目は自由行動だったので、私は友達とUSJに行きました。私は「自分は絶対的ディズニー派だ」と思っていたのですが、あまりのUSJの楽しさにはしゃぎすぎて後半はぐったりするほどでした。

今回の研修旅行で、ここには書ききれないほど楽しくて素敵な思い出がたくさんできました。いつもの課題に追われている日々とは一旦離れて、現実逃避をしているような3日間でした。残りの1年は普段の生活も素敵な思い出になるように努めたいです。



嵐山・渡月橋

### 研修旅行見学先メモ(広瀬キャンパス)

学 科	主な見学先(日程)
知能エレクトロニクス工学科	NECイノベーションワールド、大阪城、東レエンジニアリング、島津製作所、京セラファインセラミック館(平成29年11月7日(火)~10日(金))
情報システム工学科	京セラファインセラミック館、清水寺、奈良先端科学技術大学、NECイノベーションワールド、株式会社楽天大阪支社(平成29年11月7日(火)~10日(金))
情報ネットワーク工学科	大阪企業家ミュージアム、NICTユニバーサルコミュニケーション研究所、電電宮(平成29年11月7日(火)~10日(金))

# 校外研修報告



マテリアル環境工学科3年  
小野 皓平

私たちは11月9日に校外研修で「株式会社リード」の新地南工場と仙台工場を見学しました。新地南工場では、ダイヤモンドワイヤーを主に生産しており、その製造工程の様子や品質管理の現場を見学しました。ダイヤモンドワイヤーとは、ワイヤーの表面にダイヤモンド微粒子が添加されており、硬い材料でも高速で切断できるため、サファイアや太陽光パネルの加工に用いられています。

仙台工場では、ダイヤモンドブレードを主に生産しています。ダイヤモンドブレードはダイヤモンドワイヤーと同様にブレードの表面にダイヤモンド微粒子を添加し、リードオリジナルの機械を用いることで薄く世界一硬いブレードを製造することができます。仙台工場ではブレードの製造工程の見学と、ブレードの厚さが均一かどうか、マイクロメーターを用いて評価する体験をしました。私はこの体験でブレードが非常に薄いため間違えて割ってしまいましたが、従業員の方は1日に約200枚以上もブレードを割らずに品質チェックしていると聞き大変驚きました。

校外研修を通して同じ会社でも工場によって様々な仕事内容や雰囲気があることが感じられ、2つの工場を見学できたことは非常に良い経験になりました。



(株)リード仙台工場

## 校外研修旅行見学先メモ(名取キャンパス)【前期および後期】

学 科	主な見学先
機械システム工学科	仙台市立博物館、JFEスチール(株)仙台製造所
電気システム工学科	宇宙航空研究開発機構角田宇宙センター、トヨタ自動車東日本(株)
マテリアル環境工学科	YKK AP(株) 東北製造所、(株)リード 新地南工場、仙台工場
建築デザイン学科	石巻合同庁舎 新築工事、福島県赤十字病院施設整備事業 移転新築工事



情報システム工学科3年  
穀田 一真

9月29日の校外研修で私たち情報システム工学科3年生は、「技術研究組合制御システムセキュリティセンター(CSSC)」と「麒麟ビール仙台工場」を訪問しました。

「技術研究組合制御システムセキュリティセンター(CSSC)」では、今日のマルウェアやランサムウェアなどをはじめとするセキュリティ上の脅威から、ガスプラントや発電所などライフラインに関わる重要な施設や、身近なビル・工場などの設備をどのように守るかについての研究開発が行われています。

私たちは、宮城県多賀城市にあるテストベッド(疑似体験施設)で、その活動についての基本的な説明を受けたのちデモンストレーションやサイバー演習の様子を見学しました。

ここでは、工場や実験施設内で使用されているプラント設備やビルの制御システムなどの装置が忠実に再現されており、バーチャルではあるが普段の生活では滅多にない現実的な体験をすることができました。

また、麒麟ビール仙台工場では学科内の学生同士で工場内を巡ったり、麦汁の試飲、麦芽の試食、ホップの香り体験等オリエンテーションに参加したりするなどして工場見学を楽しみました。

今回の校外研修は、私たちが普段学んでいる情報システムに関する知見を深める、また学科内の交友を深めるという双方の観点から、非常に有意義なものであったと思います。

## 校外研修旅行見学先メモ(広瀬キャンパス)【日程:平成29年9月29日(金)】

学 科	主な見学先
知能エレクトロニクス工学科	JFEスチール(株)仙台製造所、仙台うみの杜水族館
情報システム工学科	制御システムセキュリティセンター、麒麟ビール(株)仙台工場
情報ネットワーク工学科	宇宙航空研究開発機構角田ロケットセンター、仙台うみの杜水族館



麒麟ビール(株)仙台工場

# 図書館の活動について

## 名取キャンパス図書館から主な行事について

### 仙台高専なとりライブラリーカフェを開催しました

高専祭において「仙台高専なとりライブラリーカフェ」を開催し、講師の先生から本にまつわる話を伺いました。2日間で約50名の参加があり、クイズに答えたり、実際に材料に触れたりして、和やかで楽しい時間を過ごしました。

※館内では当日の講演を視聴できません。



仙台高専なとりライブラリーカフェ

第1回:10月28日(土)

講師:永弘 進一郎先生(研究分野:流体力学・非線形動力学)

演題:毒書のすすめ

紹介された本:『滯留日記』『狼たちへの伝言』『麻雀放浪記』『ベスト』『シーシュポスの神話』『うらおもて人生録』など

第2回:10月29日(日)

講師:熊谷 進先生(研究分野:構造材料の破壊と変形)

演題:触れて知る材料と社会の歴史

紹介された本:『銃・病原体・鉄(上・下)』『縄文人はるかなる旅路』『道具の考古学』『国綱』『史記(上・中・下)』など

### 読書コンクールを開催しました

本の紹介や感想をカードにまとめる「POP選手権」や「レビュー選手権」、読んだ本の冊数を競う「読破王」の3部門を新たに設け、平成29年度読書コンクールを開催しました。高専祭2日目の10月29日(日)に表彰式を開催し、福村校長先生より入賞者に賞状と副賞が授与されました。

- |          |   |   |
|----------|---|---|
| ■POP選手権  | 最優秀賞:電気システム工学科3年 高橋 遥加<br>優秀賞:電気システム工学科2年 八城 沙彩<br>優秀賞:マテリアル環境工学科2年 狩野 元弥 | 「世界の英語ができるまで」<br>「夜のピクニック」<br>「モモ:時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえてくれた女の子のふしぎな物語」 |
| ■レビュー選手権 | 最優秀賞:電気システム工学科3年 菅井 朋葉<br>優秀賞:電気システム工学科3年 高橋 遥加                           | 「たとえ明日、世界が減びても今日、僕はリンゴの木を植える」<br>「教養としての言語学」                            |
| ■読破王     | マテリアル環境工学科4年 吉田 瑠   |   |

### ブックハンティングを行いました

後援会の助成をいただき、図書館に置いてほしい本を学生が書店で選びました。学生が選んだ本は図書館1階に展示されています。

第1回:6月14日(水)紀伊國屋書店(ザ・モール仙台長町店)

第2回:12月1日(金)丸善(仙台アエル店)



第1回ブックハンティング

### 文献検索・電子ジャーナル講習会を開催しました

8月3日(木)に電算室において、講習会を開催しました。研究室所属学生などが参加し、情報検索の意義や論文・本の探し方を学びました。

### 「科学道100冊」フェアに参加しています

理化学研究所の「科学道100冊」フェアに参加しています。科学にまつわる本を図書館1階に展示し、ブックレットを配布しています。

## 広瀬キャンパス図書館から主な行事について

### ブックハンティングを行いました

後援会の助成をいただき、学生図書委員25名と教員によるブックハンティングを7月と10月に行いました。ブックハンティングで購入した図書は、貸出回数も多く、大変好評なため、今後も続けていきたいと考えています。

### 各種セミナーを開催しました

- 6月 5年生・専攻科生向け データベースを使った文献検索講習会
  - 8月・11月 TOEIC対策セミナー(福地館長)
  - 11月 編入学・大学院進学者による受験対策談話会(本科生4名・専攻科生1名)
  - 12月 4年生向け 論文執筆と文献検索の基礎知識講習会(松枝先生・小林先生)
  - 随時 1~2年生向け 英語多読セミナー(久保田先生)
- ※( )内は講師

### 文芸コンクールを開催しました

平成29年度広瀬キャンパス文芸コンクールの表彰式が2月14日(水)に実施され、学生8名8作品が入賞し、福村校長より賞状と副賞が授与されました。



7月3日 ブックハンティングの様子

#### ■ 読書感想文・紹介・書評部門

優秀賞:IE5 伊藤 満里奈「スロウハイツの神様」を読んで  
優良賞:IN5 西島羽 陽 「異端の数ゼロ」紹介文

#### ■ 創作部門

優秀賞:1-1 能阿弥 佑衣 /小説  
優秀賞:IN4 木島 康貴 /川柳  
優秀賞:IN5 松原 萌子 /短歌  
優良賞:IS2 櫻庭 紅花 /小説  
優良賞:IE3 片山 堅斗 /俳句  
優良賞:IS2 千葉 尚弥 /俳句



図書館にある参考書の活用について  
話す学生(受験対策談話会)



2月14日 文芸コンクール表彰式の様子

# 学生相談室

## 学生相談室の活動について

カウンセラー 本田 佑

平成29年度より仙台高専で常勤カウンセラーとして勤めております本田佑です。

今年度、学生相談室は常勤カウンセラー2名、非常勤カウンセラー1名の合計3名で業務に当たってきました。常勤のカウンセラーが2名いる体制は、全国の高専を見回してみても大変珍しいことです。

また名取・広瀬両キャンパスとも月～金曜日カウンセラーが勤務し、平日に不在日のない体制が整えられていることも稀なことです。これは仙台高専が学生相談室の活動に力を入れていることの現れに他なりません。今回は、学生相談室の紹介や今年度の取り組みについてご紹介します。

### 1 各キャンパスの相談室について

名取キャンパスの相談室は、保健室隣にあります。相談室専用の入り口もありますし、保健室の方から入室するための通路もあり、利用する人の様々なニーズに対応できるようにつくりになっています。

相談室内は大変清潔感があり、また、テーブルや椅子、書棚などが木目調に統一されており、来室した人がくつろげる工夫もなされています。こみ入った話でも気軽な雑談でも、リラックスして話せるような空間になっています。実際にまだ来たことのない方はぜひ一度お立ち寄りください。

広瀬キャンパスの相談室は、今年度から2ヵ所になりました。相談室1は、保健室の裏手にある従来の学生相談室で、箱庭があるのも特徴です。相談したい人が落ち着いて話ができる空間を提供します。

一方、相談室2は、出入りしやすいオープンな場を提供することを目的としています。相談室2でもカウンセリングは行われますが、それ以外の時間はどなたでも入ることができます。昼休み等に気軽に遊びに行ける中学校のカウンセリングルームと同じ感覚で利用できます。どちらの相談室も皆様のご利用をお待ちしています。



名取 学生相談室



広瀬 相談室1



広瀬 相談室2

### 2 学生相談室の取り組みについて

相談活動以外の取り組みとして、名取・広瀬両キャンパスにおいて、予防教育の観点から、学生向けに心理講話を実施したことが挙げられます。相談室で待つばかりでなく、我々カウンセラーの方からも積極的に学生にアプローチし予防啓発に努めることは、学生相談室の重要な役割の1つであると考えています。

名取では、低学年を対象に、渡部カウンセラーが学年ごとに実施し、広瀬でも低学年対象に、濱中カウンセラーと私、あるいは柏葉学生相談室長が、各クラスに出向いて行いました。コミュニケーションやストレス対処、感情のコントロールについてなど、日々の学生生活に活かせる情報を提供しつつ、学生相談室の紹介も内容にもり込みました。学生からの評判も上々で、受講をきっかけとしてカウンセリングを希望する学生が増えたことを大変嬉しく思っています。

我々カウンセラーが学生の皆さんに対して、直接話をするのできる機会はとても意味のあることだと感じますので、今後もこのような学生向け心理教育を充実させていきたいと思っています。



名取 心理講話の様子



広瀬 心理講話の様子

# 新任教職員紹介

## 教員



総合工学科(名取) 准教授 金子 忠政

教員生活の最後として、ここ高専の学生たちとともに過ごすことができたことには、〈不思議な〉感慨があります。  
 (当初私はこれまでの教員生活の総決算としての取り組みを考えここ高専の授業に臨みました。しかし、こちらの力量不足からか、あるいは最初から張り切りすぎてしまったからなのか、空回りすることも多く、予想に反して悪戦苦闘の日々だったように思います。)  
 〈不思議な〉感慨とは以下のようなことです。すなわち、今回の高専生との授業での対峙は、総決算というより、むしろ初心に還ることがいかに難しく、それゆえ重要かということを痛感させてくれるものでした。これでようやく教員生活としての終わりを迎えることができるという感慨よりも、現実的にはありえないにもかかわらず、〈不思議な〉ことに、何か教員生活がこれからはじまるのかもしれないなどという錯覚に陥ります。  
 とは言っても、終わりは終わり。失敗ばかりの授業はともかくとして、休み時間や放課後に研究室において、珈琲を飲みつつ、学生たちと楽しく語り合えることができたことは、私の教員生活の最後に一凛の花を添えてくれました。また、基本的に心根の優しい高専の学生諸君たちの、老いぼれかかった私への心配りも感じられる様々な語りを通じ、決して大袈裟ではなく、未来社会への希望のようなものを感じることができました。  
 仙台高専の学生諸君の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げて、一年間の感想とさせていただきます。いろいろとお世話になり誠にありがとうございます。



総合工学科(広瀬) 助教 張 曉勇

今年度4月より総合工学科の助教として着任いたしました、張曉勇(ZHANG Xiaoyong)と申します。私は中国の貴州省出身で、2007年から東北大学へ留学し、博士の学位を取得後、東北大学のサイバーサイエンスセンター、医学系研究科、工学研究科での6年間の勤務を経て、今回仙台高専に着任いたしました。  
 高専は自分にとって初めての環境でしたので、期待と同時に緊張や不安もありましたが、この1年間、教職員の方々の助けや学生のみなさんとの交流を通じて生活にも少しずつ慣れてきました。  
 私の専門は電子・情報分野の中でも、デジタル画像処理とその応用に関する研究です。特に医療画像に着目し、画像誘導放射線治療・計算機支援診断システムなどの研究開発に取り組んでいます。今年度から初めて授業を担当しておりますが、今まで得た技術や知識をもとに学生自身の考えを尊重し、実践的・創造的な技術者を育てられるような教員になりたいと考えております。  
 最後に、学生のみなさんが新しい技術や知識を効率良く吸収できるよう、私自身も成長の努力を続けていきたいと思っています。



総合工学科(広瀬) 助教 加賀谷 美佳

今年度広瀬キャンパスに着任しました加賀谷美佳と申します。私自身、青森県の八戸高専の出身ですので、高専教員として東北に戻ってくることができ、非常に嬉しく思っています。  
 高専生時代には、まさか高専の教員になるとは夢にも思っていなかったのですが、今では毎日学生との楽しい時間を過ごしており、やっぱり高専の雰囲気は好きだなと改めて感じています。  
 私の研究の専門は宇宙物理学やガンマ線天文学、放射線計測で、地上や宇宙から降り注ぐ放射線を検出する測定器の開発や観測データを用いた天体の調査を行っています。高専時代は物質工学科で化学を専攻していたのですが、やりたいことを追い求めて理学部の物理の分野へ編入したものの、結局モノづくりの研究分野に戻ってきたというちょっと異色な経歴でもあります。つまり、学生のみなさんも、やりたいことが見つかったときには躊躇せず、その道へチャレンジすることが大事だと思います。卒業してからも決して遅いなんてことはありません。挑戦せずに後悔することのないように、自分の歩む道を自分で決めていって欲しいと思います。  
 また、学生時代にはずっとバスケット部に所属していましたが、本校でもバスケット部の顧問を担当させていただいています。大好きなスポーツに関わりながら学生の成長を見ていけるというのは本当に幸せなものです。バスケット部(選手、マネージャー)も随時募集していますので、いつでも気軽に声をかけてください。

## 職員



総務課長 荒 孝二

平成29年4月1日付けで東北大学から総務課長に着任いたしました。  
 私は、平成5年から平成7年まで宮城高専に勤務し、今回が2回目の高専勤務となります。当時お世話になった先生方や技術職員の方々に再びお会いできて、懐かしく嬉しく思います。  
 現在は、宮城高専と仙台電波高専が統合し仙台高専となり、両キャンパス交互に勤務することに最初は戸惑いましたが、徐々に慣れてきたところで。  
 法人化以降、大学もそうですが高専も改革の波が押し寄せ、教職員も忙しく対応に追われている感じがします。そのような中で福村校長先生のリーダーシップの下、教員・技術職員・事務職員が一体となって仙台高専をさらに良くしていこうという意気込みを感じております。私も微力ながら仙台高専のさらなる発展のために努力したいと思っていますので、皆様、今後ともよろしく願っています。



施設課長 江川 豊

4月1日付けで東京大学本部施設部より施設課長として赴任してまいりました。  
 この職務の最初の赴任地は大阪教育大学でした。そこで大学の移転統合整備に約10年間携わり、多種多様な工事を担当することで良い経験を積むことができました。その後東京大学へ異動、文科省内の大学では経験できないようなプロジェクトに参画し、教職員協働の必要性を実感しました。東大在籍中も関東管内の施設を経験、東北地区では那須甲子少年自然の家で勤務しました。雪深い思い出があります！  
 宮城県での勤務、高専勤務は今回が初めてであります。  
 仙台高専では今までの施設整備経験を生かし、仙台高専の教育基盤となる教育施設環境の発展に向け尽力して参りたいと思います。また、自分の持っている力を仙台高専のために十分発揮したいと考えております。  
 教職員の皆様にはご協力を頂くことになるとは思いますが何卒宜しくお願いします。

## 退職教員メッセージ

総合工学科(広瀬) 教授 藤木 なほみ

## 退職にむけて

早いもので、もう退職の迎える年になりました。人より長く学生をしていた私が高専に来たのは40歳ちょっと前でした。当時、カナダの東海岸の町で大学の助手をしながら娘と2人で暮らしていました。日本での就職活動の仕方も分からず困窮していたとき、仙台電波高専の山田校長先生が、経歴が面白いと工学系でもない私を面接もなしに情報通信工学科の教員に採用してくださいました。

高専側にはかなりのギャブルだったのではないかと、なんとなくその期待に応えようと無我夢中で過ごしてきた気がします。女性が少ない中でいろいろな経験もさせていただきました。その結果は??ですが、様々な個性あふれる高専生たちと触れ合える機会をいただけたことを心から感謝しています。

高専生の素晴らしさ、その活躍をもっともっとみんなに知って欲しい。これからもずっと高専生の応援団でいられたらと願っています。



総合工学科(広瀬) 教授 佐藤 公男

## これまででも、そして、これからも

平成2年4月から仙台電波高専情報工学科にお世話になり、その後、仙台高専情報ネットワーク工学科を経て現在に至るまで、お陰さまで大変有意義な教員生活を送ることができました。その間、旧宮城・仙台電波高専の統合再編という大きな変革に直接関係らせていただいたほか、副校長の立場から、学生の成長を最優先に考え、種々の評価改善や新規の取組みを実践してきたことは思い出深いものとなりました。

昨年12月に、平成6年度に5年担任をした卒業生から「来年に先生の慰労をしたいので、その打合せ会には是非一緒にしてください。」とのお願いがあり、その時の参加者の一人が「先生と話はずむか心配していたが、余計な気を遣うことなく、こんなに楽しい時間を過ごすことができほっとしました。」と何度も話してくれました。当時は、進路指導という大事な役割があり、ビリピリしていたことがあったことも事実ですが、それよりも何十年ぶりでも再会することになり、私のことを心配してくれていたのかも知れません。

これまでを振り返り、今自信を持って言えることは、学生との明るい会話、ほっとできる関係作りを心掛けたこと、そして何よりも、学生一人ひとりを大切に柔軟な姿勢を前面に出してきたことでしょうか。3月で定年となりますが、4月からも引き続き本校にお世話になります。これまで同様に、学生が安心してできる雰囲気意識的に醸し出し、学習、学生相談、課外活動など、学生の成長のためにサポートできればと思います。



総合工学科(広瀬) 教授 菅谷 純一

## 定年、何それ

独特の風貌でめったに笑顔の姿は拝顔したことのない威厳がある感じのする先生だった。

本校に入った辞令交付の日、校長室を訪ね、平原先生に新任のあいさつをした。

「なかなか論文がうまく書けない」という話をしたら、後日1冊の参考書である木下は雄著書「理科系の作文技術」を頂いた。怖いどころではなく実は優しい校長、今でもたまに見開いている。

昭和57年4月仙台電波工業高等専門学校電子工学科助手として採用。勤務。先輩の先生方や現在の先生方にいろいろとお世話になり、いつの間にか35年間も過ぎた。自分が成長させてもらった直接の学科である電子・電子制御・情報システムの学生延べ人数が1,500名近く。

助手時代に今の6号棟2階の北階段角部屋に逢坂先生や海野先生と机を並べて実験準備や研究に動んでいた。当時はまだ情報工学科もなく、電子工学科と情報通信工学科の2学科のみ。研究に関連するからとポアンカレ「多体問題へのトポロジーの応用」に関心をもち、なぜか「斜陽」のデカダンス太宰治に心酔。フロイトの「精神分析学」も勉強した。最初に研究費で購入したパソコン。NECの16ビットPC9801F。隔世の感がある。当時を振り返ればきりが無い。

制度上の定年とは言え、今以上に、好き勝手もさせて頂く。趣味の釣り・語学の勉強・ジョギング、仕事も家庭も顧みねば。何のことはない現役とあまり変わらない？

最後に、諸先輩や教職員、学生等皆様のおかげで、無事に退職を迎えられ、この書面を借りて感謝する次第です。新たな次世代を構築する皆様のご多幸とご活躍を祈願するとともに、仙台高専のさらなるご発展を祈願します。



総合工学科(広瀬) 准教授 武田 正則

## 定年を迎えてのふり振り返り

2014年8月から「特命助教・校長補佐」として着任しました。その後、27年度から「情報システム工学科」、29年度から「総合工学科」に配属になりました。これだけ見ても、変化の激しい3年間であったように思います。

さて、私の出身は山形で、話題に事欠かない仙山線で、毎日通勤してきました。「今日はうちに帰れるのかなあ」と不安を抱えていた着任当時から、今は、「今日中に、帰れればいいなあ」と思うようになりました。特に、「倒木5時間閉じ込め事故」(2015)は思い出であり、本校生の熱心な車中ボランティア活動に感動しました。さらに、着任して驚いたことは、大きな敷地と学寮、そして学生のやる気でした。放課後も教室で仲間と勉強している姿を見て、高専生はすごいと思いました。その勉強する姿は、今も変わりません。これまで、私は、主に「情報システム工学科」の2、3年生の「電気回路基礎」「電気回路」を担当してきました。その中で、毎回、アクティブラーニング授業を行ってきました。私が、この学びに興味を持ったのは、JICA専門家として「ジャマイカ国職業教育改善プロジェクト」に従事した経験にあります。参加・参画型授業を学校教育に取り入れられないかと考え、あれこれ20年以上、研鑽を積んできました。この授業実践では、学生の皆さんから多くのアイデアをいただきました。「よいグループ編成を考えてほしい」、「グループ学習の貢献を考えてほしい(授業貢献度)」など真面目な意見が多くありましたので、「アクティブラーニング学習支援システム研究室」を立ち上げました。ゼミ生4名が「デジタル学習教材コンクール(2017)」に応募したところ「優良賞」、および関連して「本校校長賞」を受賞し、研究の大きな励みになりました。それらを含めて、たのしい高専生活を皆さんと共に送ることができました。

最後に、在校生、卒業生の皆さん、教職員の皆さんのご多幸と仙台高専のご発展をお祈りしています。



総合工学科(名取) 教授 平間 哲雄

## 定年を迎えて

教職員の皆様、長い間お世話になりました。学生の皆さん、たいへん感謝しています。楽しい思い出をたくさん残すことができました。

思えば33年前、仙台南高校の教師を辞めて当時の宮城工業高専に体育教員として赴任しました。一学年に女子学生が10名ほどしかおらず、暗い学校だと思えました。

しかし、骨のある男子学生が多く、授業や部活などは毎日張り合いのあるものでした。同じ学校に長年勤めていると、かつて担当した学生の子供が入学し、親子2代で接するという現象もしばしば起きたりします。

また、高専の良いところは卒業生の結束力が強く、部活のOB会には毎年40名くらいの出席があります。多感な10代後半の5年間を過ごすわけですから、高校、大学にはない愛着のようなものが生じると思います。

一般的には高専の教員は教師兼研究者が理想だと思いますが、体育教員の私は教師兼指導者として過ごしました。この方が生き甲斐を感じたり、有形な成果を出しやすかったと思います。現代のスポーツ科学の研究の多くは医学、工学の領域で、現場の教育業務からは乖離しています。エンジニアや研究者を目指す学生さんにお伝えしておきたいことは、皆と同じことをやらないということです。同じことをやれば厳しい競争にさらされ成果を出すのが難しくなります。混み合う所に旅行するより穴場を求める方が楽しめることに似ています。私はそういうスタンスでいたせいか、あまりストレスを感じず平穩に過ごすことができました。

最後になりましたが、仙台高専の益々の発展と皆様のご健勝をお祈りし、定年の御挨拶としたいと思います。



総合工学科(名取) 教授 内海 康雄

## 平成30年に考えていること

高専の草創・展開・持続に続く第4世代の教員として名取に参りました。はじめは「実践的技術者」の養成でしたが、多くの方々の力により国際標準教育分類ISCED2011において高専(専攻科)は学士レベルの高等職業教育機関となっています。

学生の皆さんは科学・技術・技能を組み合わせ活用する能力を身につけて、国内外での産業活動に加わります。知財・経済・経営に関する科目が増えていますが、近年の課題は解決の選択肢が複数あるため定量化しづらいです。例えば震災復興の地域活動を思い浮かべて下さい。これまでの科学・技術に加えて、イノベーション、起業家精神、ヒトと社会の考え方など扱うべき範囲が広がっています。

これまでにヒトは火や記号を使う前から困難を乗り越えてきていて、祖先のおかげでわれわれは暮らしています。これからは「2052 今後40年のグローバル予測」、「2050年の世界一英『エコノミスト』誌は予測する」、「2050年の技術 英『エコノミスト』誌は予測する」、「GLOBAL TRENDS 2030: ALTERNATIVE WORLDS」などに沿っていくのでしょうか。地球温暖化、資本主義、テロリズム、人工知能などについて幅広く予測されています。また脳科学に注目すべきと思います。ヒトの考え方がようやく見え始めました。「脳の意識 機械の意識」、「脳と心の正体」などが参考になります。

これからの日本と世界をにう学生と教職員の皆様の活躍をお祈り申し上げますとともに、これまでのご指導・ご厚情に感謝申し上げます。



# 退職職員メッセージ

学生課長 黒田 義弘

## 定年を迎えて

私は、平成17年度から18年度まで宮城高専にお世話になりました。そのころは、宮城高専と仙台電波高専との高度化再編のための議論が最高潮になっている時でしたので、先生方のご苦労は大変なものだと感じておりました。一方、事務も定員削減のため、業務の透明化を行い、整理見直しを進めていました。

再び、平成28年度から仙台高専にお世話になりましたところ、平成29年度から学科改組を行うと言うことで、組織のスリム化が進められました。このように改革に続く新たな改革は、これからも続くと思います。

学生は、それに向かって努力していらっしゃる先生方を誇りに思っていることでしょう。ただ、思春期の学生は、悩みが多いものです。その時は、是非、温かい言葉をかけていただきたいと思います。仙台高専を卒業すれば厳しい社会生活が始まりますが、それに耐え少しずつ努力を続けていればいずれ生き甲斐となることを教えてあげてください。

仙台高専も厳しい予算削減に耐えて行かなければならないようですが、皆さんで協力して何とか乗り切っていただきたいと思います。

私も定年に当たっては、今までの自分の殻を破って一步踏み出すことをモットーに行きます。仙台高専の皆さまからは、温かい言葉をたくさん掛けていただき誠にありがとうございました。



教育研究技術支援室(広瀬) 技術長 笈口 誠志

## 定年を迎えて

昭和51年4月に仙台電波高専採用となり、42年間が過ぎました。

定年を迎えて思い浮かんだことは、職員の自分より年上の学生がいたということでした。私は採用時18歳であり、4年生(仙台電波高専3期生)と同学年でしたが、私は早生まれなのでその4年生たちも年上の状態でした。当時は複数回の留年をする学生も多く、25歳ぐらいで卒業という強者もいたと覚えています。こうした年上学生の名前を呼ぶときにどうしたものかと悩んだことがありました。学生とはいえ年上に対して「君付け」や「呼び捨て」でいいものかと気にしていました。5年後ぐらいに自分より年上の学生がいなくなった時には、ほっとした気持ちになったことを覚えています。

もう一つの思い出というと、高専採用後最初に触ったコンピュータです。採用当時、汎用コンピュータが導入されることになり、その要員として私は採用されました。「電子計算機室」(現在の情報基盤センター)という組織が作られ、元校長の山田先生が室長となり、野田先生と私の3名で管理運用することになりました。当時の価格で数千万円したコンピュータは、富士通のFACOM 230-28Sという機種で、主記憶64KB(のちに128KBまで増設)、補助記憶は磁気ドラム1MBと磁気ディスク17.7MB、入力装置は紙カードリーダーと紙テープリーダーという、現在のPCやスマートフォンと比べて単位が2つ低いような性能でしたが、当時の学生たちと共に使い込んだことを思い出します。

最後に、これまでお世話になった仙台高専全ての皆様に感謝申し上げます。



管理課課長補佐 佐藤 均

## 定年を迎えて

仙台高専には平成24年4月から平成30年3月までの6年間、昭和61年4月から平成5年3月までの7年間(当時は宮城工業高等専門学校(現名取キャンパス))を合わせると13年という長い期間お世話になりました。

勤めてきた約42年間の間で一番の変化といえば、やはり法人化があげられます。国家公務員の時代も予算の減少及び定員削減による職員の減少はありましたが、法人化以降はそれがとても顕著になりました。運営費交付金の削減により、建物の修繕費等にもこと欠くような現状や、教員も削減の対象となり、また人は減っても仕事は逆に忙しくなるばかりで、今後さらに厳しくなることが予想されます。高専機構もこのままの体制を維持するのは難しくなるでしょう。

また我が国における高等教育も変革の岐路に立っているように思われます。教職員が力を合わせ、荒波を乗り切るとともに、ますます仙台高専が飛躍することを祈念しています。

最後にこれまでお世話になった皆様に感謝申し上げるとともに、ご活躍を期待しています。



学務課課長補佐 手代木 雅子

## 定年を迎えて

昭和51年11月1日に当時の宮城工業高等専門学校に奉職し、今年の3月で定年を迎えることになりました。41年5ヶ月のうち、宮城高専が19年5ヶ月、東北大学が17年、仙台高専に5年勤めさせていただきました。国立の大学や高専は、平成16年4月に法人化されましたが、それ以前は公務員でしたので奉職という言葉を使いました。宮城高専では会計系と学生系、東北大学では教務系と総務系、仙台高専では教務系の仕事をしました。

採用されてからずっと宮城高専に骨を埋めるつもりでいたのですが、平成8年4月に東北大学へ異動だと言われ、平成2年生まれの保育所に通う二女を抱えながらも女性が異動する時代になったのだと、自分に言い聞かせながら異動したことを覚えています。

その頃からパソコンが導入され始め、物理系学科共通事務室では、マックでメールのやり取り、データベースは桐、ワープロは松といったことで、教務系の仕事は初めてだったにもかかわらず、その使用方法も覚えなくてはならず苦労しましたが、物理系の学生や先生方と様々なことでふれあう機会があり、卒業式などには学生さんに感謝され、教務系の仕事の醍醐味を味わい、教務でがんばるぞ〜と思ったものでした。また、東北大学では世界に名を馳せる先生たちとお話する機会もたくさんあり、勉強になりました。

平成28年4月に東北大学から広瀬キャンパスに異動になったときには、先生方に「お帰るなさい。」と温かい言葉をいただき感激しました。まるで実家に帰ってきたように感じました。

様々な苦労を乗り越えながら、41年5ヶ月を勤め上げることができましたのも、皆様の支えがあったからこそ、改めて感謝申し上げます。仙台高専の更なる発展を祈念いたしまして挨拶の言葉といたします。

『ありがとうございました。』



# 活動状況報告

## 今年の国際交流状況について

### 広瀬キャンパスの国際交流状況について

広瀬キャンパス国際交流委員会委員長 教授 藤木なほみ

広瀬キャンパスでは、今年度も4月初めにフランスの技術短期大学から4名、4月半ばからはフィンランドのトゥルク応用科学大学から4名の学生さんを其々3月の期間迎えました。また、タイ王国キングモンクット工科大ラカバン校 (KMITL) からは6月初めに12名の3年生を6週間迎えました。一方で後期は毎年来ていたフィンランドのヘルシンキメトロポリア応用科学大学からはインターンシップ希望者がなく、トゥルク応用科学大学から1名、フランスリールから1名、KMITLから1名の学生を迎えることになりました。

今年度は学生担当副校長の久保田先生の声掛けで、広瀬キャンパスには学生国際交流委員会が発足、委員会のメンバーが中心になって恒例のフードパーティや青葉祭り見学、浴衣を着る会やホームルームへの招待など様々な交流イベントを企画し学内に広く呼びかけることで多くの学生さん達と触れ合う機会を持ちました。

一方、派遣ではフィンランドへ10名が長期インターンシップに、KMITLでの春季インターンシップには今年4名の5年生が参加、研究プロジェクトや授業だけでなくいろいろと貴重な経験を積んで来たようでした。また、4年生20名が研修旅行でタイを訪問し、春に本校を訪れたKMITLの学生さんと一緒にバンコクの街歩きをするなど、楽しい思い出をたくさん作って帰って来ました。



フィンランドの学生さん達の最終発表会をしました。



タイの女子学生さん達に浴衣の着付けをしてあげました。



フィンランドのトゥルク応用科学大学で研修したプロジェクトチームと談笑する学生さん



フィンランドのトゥルク応用科学大学のゲームラボで研修中の学生さん

### 名取キャンパスの国際交流状況について

名取キャンパス国際交流委員会委員長 教授 小林 仁

名取キャンパスでは、4月より3か月間、フィンランドのトゥルク応用科学大学より4名の学生を研究でのプロジェクト活動で受入れております。新規交流先として、8月より1か月間、マレーシアのテレンガウ大学より2名の学生を実験室での研究活動で受入れております。また、9月にはモンゴルのモンゴル高専より3名の学生が「ロボコン」や「実習工場」の視察に来校しています。

一方、5月に10日間、ドイツの技術学校フェリクス・フェッヒエンバッハ・ベルーフスコレークへ10名の学生を派遣して、プレゼンテーションやインターンシップに参加させています。8月には、フィンランドのトゥルク応用科学大学で開催されたISTSへ専攻科生1名を派遣し、企業から与えられたテーマのPBL活動を行っています。また、8月から1～6か月間、5年生2名と専攻科生2名をフィンランドのメトロポリア応用科学大学へ派遣してPBL型実修を履修し単位を修得しています。

新規交流先として、10月より2か月間、モンゴルのモンゴル高専、新モンゴル高専、科技大高専へ専攻科生3名を派遣して、サービスラーニング(教育環境調査・改善)を実施しています。さらに、2月より1か月間タイの高専へ専攻科生2名を派遣してサービスラーニング(教育環境調査)を実施します。



名取キャンパスでの成果報告会(テレンガウ学生)



モンゴル高専でのサービスラーニング/教材開発(専攻科生)



モンゴル高専でのサービスラーニング/遠隔授業(専攻科生)

# キャンパストピックス

## 高専制度とモンゴルについて

日本の優れた「高専」という教育システムを広く海外にアピールする試みとして、本校でも国際交流協定締結を含む様々な取り組みが行われております。今年度のWEBに掲載された記事の中から、日本の高専をモデルとして既に「高専」が開校されているモンゴルとの交流についてご紹介します。

### 1.ガントゥムル前モンゴル教育文化科学大臣等が来訪【4月20日WEB掲載】

平成29年4月14日(金)17日(月)に、本校の前身校の一つである仙台電波高専の卒業生で、Honorary Professorであるガントゥムル前モンゴル教育文化科学大臣と、モンゴル国立科学技術大学附属高専のガンバヤル校長、ガントゥムル氏のご夫人であるトル女史、モンゴル工業技術大学の西山名誉教授、広報担当のロドイサンブー氏が来訪されました。

#### <4/14 名取キャンパス訪問>

福村校長から歓迎の挨拶があり、その後ガントゥムル氏からご自身やモンゴルについて紹介がありました。引き続き開催された学生との懇談会では、名取キャンパスに在籍している留学生8名に対して、ガントゥムル氏から日本で学ぶことの意義についてのお話があり、エールを送られました。

その後のキャンパスツアーでは、物理・化学等実験室、研究施設、eラーニング室・図書館、創造教育センター、スポーツ施設を見学、理科レンジャー、ロボットコンテスト、部活動等の様子をご覧になり、充実した設備や教育研究活動・部活動に取り組む学生の姿に感心されていました。

#### <4/17 広瀬キャンパス訪問>

午前中、宮城県の企業・産業に詳しい「みやぎ工業会」の八島専務理事と仙台市経済局産業振興課の白岩課長にもご出席いただき、本校の福村校長をはじめとする関係教員も交えて、モンゴルの企業や産業等に関する懇談会を行いました。昼食後は、授業の様子や創造教育工房、ガントゥムル氏が暮らしていた寮の見学や、モンゴルから広瀬キャンパスに来ている留学生3名との懇談会があり、その後、第一体育館で本校の改組を記念して、ガントゥムル氏の講演会が行われました。

仙台電波高専在籍中の思い出や、政治家を志したきっかけ、夢をかなえるまでの努力、大臣としての仕事、さらにモンゴルの教育の現状等をお話いただきました。学生も興味深く聞き入り、質疑応答では多くの質問がありました。講演会にはガントゥムル氏の仙台電波高専在学時代の同級生や先生方もご招待しており、講演会後にはガントゥムル氏を囲んで当時の話に花を咲かせていました。

また、福村校長やガンバヤル校長らは、今後の本校とモンゴルの高専等との国際交流について意見交換を行いました。



### 2.モンゴルの高専へ実験機器等の寄贈について【8月31日WEB掲載】

現在、モンゴルには3つの高専(国立科技大付属高専、モンゴル工業技術大学付属高専、新モンゴル学園高専)があります。モンゴルに正式に高専が発足したのは、仙台電波高専を卒業したガントゥムルさんがモンゴルの教育・科学大臣に就任されて、モンゴルに導入すべき日本の優れた教育制度の1つとして高専設立に尽力されたからです。また、日本の国立高専機構本部もモンゴルの高専と提携を結び、教員と学生の交流を活発にするために協力することになりました。

モンゴルに高専が設立された背景には、日本の高専で学んでモンゴルに帰国した後、「モンゴルの発展には高専が必要である」と考えた皆さんの先輩にあたるモンゴル人の高専OBの方々の熱い思いがあります。モンゴルの高専では、日本語の授業、日本語での授業も行われており、これまでのモンゴルの教育方法とは異なる日本の高専の教育方法をそのまま導入しています。日本語の教科書を用いた授業もありました。

まだ設立されてから3年の新しい学校です。設備も充実しているとは言えず、実験機材の不足、図書館の本の不足を懸念されています。現在の日本では、実験機材もデジタル機器へのリプレースが進み、アナログ機器の出番は減少傾向にあります。そんな中、日本の高専を訪れたモンゴル高専の先生方、また、モンゴルの高専を訪れた日本の高専の先生方は、それらの実験機器の第2の活躍の場があることをお互い感じました。日本の高専では当たり前の「1人1機材」の環境をモンゴルの高専にも実現する。まだ十分使用できる現役の実験機材がモンゴルの高専で活躍することはとてもうれしいことです。そこで、国立高専機構本部を通じて、モンゴルの高専への実験機器の寄贈が動き始めました。

仙台高専をはじめとする日本の高専の教員の皆様には、使用頻度の低くなった教科書類をご提供いただきました。事務の方には、輸出のための申請書の作成、手続きをお願いしました。その結果、教科書類350冊、ファクションジェネレータ25台、シンクロスコープ37台をモンゴルの高専に贈ることができました。



モンゴルに向けての  
発送作業の様子

### 3.モンゴル高専協会との国際交流協定(MOU)調印式を開催【10月29日WEB掲載】

平成29年10月23日、IETモンゴル高専において本校とモンゴル高専協会との国際交流協定の調印式が行われました。

本校からは、福村校長、小林国際交流委員長(名取キャンパス)、矢島国際交流委員長代理(広瀬キャンパス)、またモンゴル高専協会からは、Buyanjargal理事をはじめモンゴル3高専の代表者が出席しました。

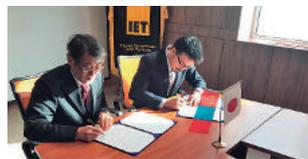
本校は、既に国立高等専門学校機構の推進する高専(KOSEN)の海外展開事業の特別協力校として、本年9月末から2週間、IETモンゴル高専の学生を3名受入れてプロジェクト型研修に取り組んでいます。

さらに、10月末から2か月間、本校の専攻科生3名をモンゴル高専に派遣し、海外長期インターンシップ(地域課題解決型サービスラーニング)に取り組む予定です。

本協定の締結により、高専の優れた教育システムを海外に対して広くアピールすることができるだけでなく、相互派遣交流が更に加速化され、本校学生の国際力の養成及びモンゴル人学生の留学先・就職先としての間口の拡大が期待されます。



IETモンゴル高専前にて



協定締結の様子(左:福村校長、右:Buyanjargalモンゴル高専協会理事)



固い握手を交わす福村校長(右)とSergelen IETモンゴル高専校長(左)

## 研究室案内

### 「松原研究室」【マテリアル環境工学】

総合工学科(名取) 助教 松原 正樹

物質がナノサイズ化すると、通常の物質(バルク材と呼ぶ)とは光学特性や導電性、触媒の性質など様々な性質が変化します。松原研究室では、ナノ粒子をキーワードに金属や金属酸化物、ポリマーなどの「ナノサイズの物質を合成する」、「ナノ粒子の特性変化を明らかにする」、「ナノ粒子の特性を他に応用する」ことを目的に研究に取り組んでいます。

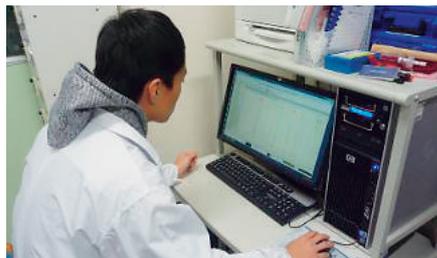
研究ターゲットは無機材料から有機材料まで様々で、例えば、金や銅はナノ粒子化すると表面積が大きくなり融点が約1000℃から200-300℃程度まで低下する「融点降下」が生じます。

そのようなナノ粒子の性質を利用して微細な電子配線を形成したり、紫外線を吸収する光触媒ナノ粒子を利用した新たな樹脂用の紫外線吸収剤の開発を進めています。

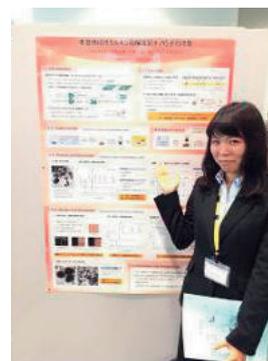
研究成果は学生が日本化学会などの学会やシンポジウム等で積極的に発表しており、近隣の東北大学多元物質科学研究所で行われている発表会や研究会にも参加しています。



マテ環デーでの研究室の集合写真



NMRによるポリマー微粒子の解析



多元研究発表会での研究発表  
(東北大多元研)

## 教育研究支援基金事務室からのお知らせ

### 仙台高等専門学校教育研究支援基金について

「仙台高等専門学校教育研究支援基金」は、①教育・研究の推進等、②学生への奨学金等、③産学連携・地域貢献、④国際交流活動等、⑤キャンパスの環境整備等、⑥その他基金の目的達成に必要な支援等のために活用させていただいています。

本校は、「仙台高等専門学校教育研究支援基金」を生かして更なる向上を目指して参ります。今後とも、皆様のご理解と格段のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。ご寄附の方法は本学ホームページに詳細を掲載しております。ご不明な点等については遠慮なく、お問い合わせ願います。

「仙台高等専門学校教育研究支援基金」についての問い合わせ先

仙台高等専門学校教育研究支援基金事務室(総務課総務係)

TEL:022-391-5508

E-mail:kikin@sendai-nct.ac.jp

## 公式ツイッターについて

### ホームページ記事の最新情報を随時発信!



<https://twitter.com/sendaikosen>

仙台高専では、ホームページのデザイン変更にあわせて公式アカウントを設置しました。仙台高専のホームページ記事の最新情報を随時発信しています。なお、本アカウントは情報発信専用ですので、返信、リツイート及びダイレクトメッセージへの個別の対応等は行いませんのでご了承願います。

## 編集 後記

今回も無事に両キャンパスの情報を載せた学校だよりを皆様に届けることができます。これまでを振り返り、今後を見通すことに役立っていればありがたいことです。一方で、いろいろな方々から、学校だよりを含めた広報全般について、こういう情報がHPでほしい、早く知りたいなどの言葉を頂いています。学生、保護者、卒業生、教職員の皆さんの声を反映できるように、仙台高専の広報が変わりつつあります。モノからコトへ社会の関心が移っている中で、コトを共有して行けると幸いです。(編集委員 内海康雄)

仙台高専だより【第5号】 平成30年(2018年)3月 発行:仙台高等専門学校

〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央四丁目16番1号

電話:022-391-5513(総務課情報企画係) ホームページ <http://www.sendai-nct.ac.jp/>